

令和3年度使用中学校の教科用図書

研 究 資 料

令和2年7月

玉野市教育委員会

教科 国語

種目 国語

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 国語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701	801	901

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、巻頭にこれまでの学年で「学んだこと」の内容が示されている。単元ごとの学習内容とその目標が「言葉の力」として示され、巻末に3学年分の「言葉の力一覧」として示されている。
- ② 「学びの扉」が漫画で示されているが、学習のポイントがやや分かりづらい。「基礎編」の「学びを支える言葉の力」では、身につけたい力が具体的に説明されている。
- ③ 「読書への招待」の教材と同テーマの本が、「読み比べよう」「読み広げよう」で紹介されている。巻末の資料編に、発展的な教材が紹介されており、本編の関連する教材とつなげて取り上げられている。
- ④ 「学びを支える言葉の力」の「つながる・広がる」の項目で、実生活での活用例が示されている。他教科との関連が、下段に「つながり」のマークで示されている。第3学年の「将来の目標や計画を立てよう」で進路学習の内容が設定されている。
- ⑤ 第1学年前半の教材は、文章量を抑え、小学校の復習となる内容で、中1ギャップに対応できる内容になっている。また第3学年では、社会生活を意識した言語活動や、報道や評論文が多く扱われており、キャリア教育につながる活動が取り入れられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「本編」「基礎編」「資料編」の3部構成となっている。
- ・学習を進める上で参考となる資料の二次元コードが、関連する箇所に載せられており、工夫が見られる。
- ・「古典の学習」では、資料が多く掲載されており、情報が手に入れやすい。
- ・情報は多いが、その分、文字が小さくなっている部分がある。

(3) 総合所見

基礎基本を重視し、3年間を見通してその定着を図れる構成であり、実生活に結びつくことを目指した内容となっている。学習のポイントやヒントが具体的に示されているため、生徒が主体的に学習できるよう配慮がなされている。ただ、「学びの扉」は学習のポイントがやや分かりにくい。全体的に情報量が多いため、文字が小さく感じられる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 国語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
15・三省堂		1年	2年	3年
		702	802	902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「読み方を学ぼう」では、課題を解決する方法や思考のポイントが書かれている。イラストや図解を用いたわかりやすい説明となっているので、基礎基本の確実な定着を図る上で効果的である。3年間で22種類の「読み方」が示され、系統的に読解力をつけることができる。
- ② 「比較」「分類」「具体化」など9種類の「思考の方法」を繰り返し示し、考えを深めるための知識・技能を身につけることができるように工夫されている。各学年に「情報を関連づける」という単元が設けられ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の能力を総合的に活用する学習活動が示されており、内容が充実している。
- ③ 「学び方」を詳しく示し、発展的な学習や自主的な学習ができるよう工夫されている。「学びを広げる」では、発展的な学習活動を具体的に提示しており、より深い学びにつながると期待できる。
- ④ 「学びを広げる」で、学んだことが他教科の学習や実生活につながるように示し、探求的な学びが期待できる。SNS・投稿文・広告など、実生活に繋がる題材が取り上げられ、充実している。
- ⑤ 地域の良さや魅力を伝える情報誌を作るという活動が設定されており、主体的に情報を集め、それをもとに自ら情報を発信するという活動によって、地域の良さや特色を尊重する態度を養うことができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各単元の構成が、「学びの道しるべ」で示されており、学習の見通しをもたせている。
- ・本編と資料編の二部構成となっており、参考資料が豊富である。読書のページと資料編の枠の色を変えて、見やすくなるよう工夫されている。
- ・資料編の「学習用語辞典」では、学習活動に関する用語と意味がまとめられている。
- ・二次元コードで参考資料が探せる。

(3) 総合所見

「学び方を示す」というコンセプトがはっきりしており、生徒が主体的に学び、反復練習することで力がつくと考えられる。他教科や実生活につながる活動や題材が充実しており、探求的な深い学びが期待できる。資料編が充実しており、自主的な学習の助けとなるよう、使いやすさを考えた構成となっている。ただ、二次元コードの説明が不足しており、指導する際、配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 国語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		703	803	903

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各教材冒頭の「学びナビ」と「ここが大事」で、学習への構えや学習に取り組むための視点が示され、見通しを持って学習を進められるように工夫されている。やや説明的で思考を促しにくいところもある。また、三年間通しての系統性がややつかみにくい。
- ② 各学年の「学びのチャレンジ」では、様々なジャンルの文章や図・グラフなどの資料を読んで、考える力、表現する力を高める問題が設けられ、情報活用能力の育成につながることを期待される。
- ③ 「学びリンク」のマークで示された教材では、二次元コードからデジタル資料を閲覧でき、自学自習に役立てることができる。その内容も、コラム、動画、ワークシート、教材に関するウェブサイト、図書紹介など、非常に充実している。各学年に一人、近代の文豪に関する詳しい資料が掲載されており近代文学に対する生徒の興味関心を喚起する好材料となっている。
- ④ 「学びを生かそう」で、学んだことを他教科や日常生活で生かすよう、具体的な場面が示されている。生徒が日常で触れる写真、広告、漫画、絵コンテ、脚本などの様々なメディアを取り上げ、その手法を理解し、表現する学習活動が設けられている。
- ⑤ 全学年でSDGsを単元として取り上げ、現代の多様な課題に対して自ら考え、対話を通して深い学びを実現できるように工夫されており、キャリア教育の土台となる力を育成することにつながる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 3年間の総ページ数が1074ページと最も多く、分厚い。
- ・ 第2学年で「漢字の成り立ち」を学習するようになっているが、内容的には第1学年に位置した方がよい。
- ・ 全学年、表紙裏に四季の写真と加藤周一の「言葉に関する評論」が載せられている。
- ・ 巻末で、文学にゆかりのある風景が都道府県ごとに紹介されている。

(3) 総合所見

「学びのチャレンジ」という新たな試みがあり、これからの社会で求められる読解力・表現力を育成しようとしている。SDGsや多様なメディアを取り上げるなど、今日的な課題に対応しており、主体的な学びを実現する構成である。「学びナビ」で学び方を身につけさせようという姿勢はあるが、3年間を通しての系統性や説明がややわかりにくい部分もあり、指導する際は工夫が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 国語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
38・光村		1年	2年	3年
		704	804	904

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、巻頭の「学習の見通しをもとう」で「つきたい力」の記述があり、巻末の「学習を振り返ろう」で「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の観点がまとめられている。また、その観点が各教材末の「学習の窓」に示され、巻末の「学習を広げる」編の「学習の窓一覧」でまとめるという工夫がなされている。
- ② 知識技能を活用するために、「思考の地図」での様々な思考法や、それを使った「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」が設定されており、情報活用能力の育成に効果的である。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、教材毎に学習のてびきを設け、巻末の「学習を振り返ろう」で領域ごとに発展問題を設定したり、「読書」で本の一部を紹介したりすることで、生徒自らが興味をもって取り組めるように工夫されている。
- ④ 言語活動の最後に「つなぐ」が設けられ、「日常生活・学校生活・将来」という内容項目で、活用場面が具体的に示されている。実生活につなげるために、第3学年では、広告、取扱説明書、パンフレットなどの実用的な文章を読んで生活に生かすという活動が設定されている。
- ⑤ 古典への誘いとして「いろは歌」「仮名序」の記載があり、四季の詩歌も豊富で日本の情緒についての学びに大変効果的である。また、第3学年において、職業ガイドを作る活動が設けられており、キャリア教育に取り組む本市の生徒にとって、実践力育成の効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全体の分量が適切であり、各領域の学習内容がバランスよく各単元に配分されている。
- ・下の学年で学習したことが上の学年で段階的に生かされる配列になっている。また、参考となる動画や音声資料の二次元コードが掲載されている。
- ・全学年、表紙裏に詩のイメージに合う写真が4ページにわたり掲載されている。
- ・巻末に、時や色、季節を表す伝統的な言葉が取り上げられている。

(3) 総合所見

考え方のツール「思考の地図」や各教材における「学習の流れ」の明確な提示などにより、生徒が自ら考え、自分自身や他生徒との対話を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現できる構成である。キャリア教育に関連した内容が取り上げられ、さらに社会の変化に対応できる力を身につけられる内容であり、実生活にも生かせるよう工夫されている。

教科 国語

種目 書写

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、文字を正しく整えて書くための知識・技能を「書写のかぎ」として系統的に一単元に1つ配置し、何を学ぶかが明確になるよう工夫されている。また、手本の左側にもポイントとなる部分がどこなのかを示し、書きながら確認できるようになっている。書き順があればさらにわかりやすい。
- ② 書写で身につけた技能を日常生活や社会に出てからも活用するために、「生活に広げよう」という活用単元が配置されている。また、手紙や年賀状、メモの取り方など日常的に必要な事例が充実しており、生徒が自ら思考、判断、表現する学習を進めやすい工夫がなされている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、各単元ごとに「見つけよう」で考えるポイントを示し、単元末には、学んだことを対話的に振り返ることができる「振り返って話そう」が設けられている。振り返りの際に、自分で書いた文字を用いて説明することで、知識と技能の両面からより深く振り返ることができるよう工夫されている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、「職場体験のお礼状」「防災訓練のパンフレット」などの題材が取り上げられ、キャリア教育や防災など、現代的な課題に対応した探求的な学びが期待できる。
- ⑤ 我が国の伝統・文化についての理解を深めるために、コラムでは、文字のなりたちや用具、手書き文字の魅力を伝える職業人のインタビュー記事など、文字を書くことのよさを伝える例の提示や記述がなされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・楷書、仮名と漢字の調和、行書と進み、特に中学校で初めて学習する行書では、書くときの動きで頻度の高いもの4つに絞り、手本がない字でも行書が書けるよう工夫されている。
- ・基本単元と活用単元は見出しが色分けされているが、学年ごとの色分けがあればさらに良い。
- ・第2学年の「行書と仮名の調和」の単元では、文字数が多く、学習内容の難易度が高い。

(3) 総合所見

1年から3年までの合本であり3年間の学習の流れがわかりやすい。楷書、行書のポイントがわかりやすく、硬筆で導入とまとめができるように配列されている。紙面は色や学習要素の数を抑え、学習に集中しやすくしたり、学習要素を同じ位置に配置したりするなど、誰もが見やすいように配慮されている。また、左利きの生徒が書きやすくなるように書き込み欄を下に設けるなどの配慮がある。単元によっては文字数が多く、学習内容の難易度がやや高い。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	書写			
発行者番号・略称		教科用図書番号				
15・三省堂		1年	2年	3年		
		702				

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、「書き方を学ぼう」という内容が設定されており、毛筆で学んだことを観点別に練習し、日常生活でも確実に定着できるよう工夫されている。
- ② 知識技能を活用するために、毛筆のあとに「書いて身につけよう」という内容が設定されており、既習事項を確認しながら、自らの文字を振り返ることができる。また、「やってみよう」では、既習事項を使って日常にある課題を解決する力を身につけたり、様々なことを表現する力を身につけたりすることが期待できる。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、身の周りの文字に注目したページを設けたり、学んだことを日常生活に生かす「やってみよう」において、課題解決活動を設定したりすることで、学んだことを自発的に生かす活動ができるように工夫されている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、習字のあとに「書いて身につけよう」という硬筆の内容があり、日常生活での書くことへの配慮がされている。しかし、学んだ内容を活用する教材が各学年で1つしかない。
- ⑤ 本市の生徒にとって、文字に関する職業人のインタビューや身の周りの文字に触れる内容があり、キャリア教育との関連として、学びを将来に生かすことに大変効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 楷書、楷書と仮名、行書と進み、特に点画の組み立てや部分の組み立てについて視覚的にまとめられている。もう少し補助線や書き方のポイントが示されていると良い。
- ・ 内容ごとにページが色分けされており、何を学ぶのかを視覚的に把握しやすい構成となっている。また、学習の進み方がわかるように「書き方のポイント」を目次のように掲載している。
- ・ 行書と仮名の調和の単元では、手本の字数が多く難易度が高いが、補助教材に標準的な課題が収められている。

(3) 総合所見

1年から3年までの合本であり、3年間の学習の流れがわかりやすい。毛筆で学んだことを硬筆で活用できるよう配列されており、ページの色分けによって何を学ぶ箇所なのか明確である。また、学校生活や日常生活で生かすことができる資料も充実している。ただし、学んだ内容を活用する教材が各学年で1つしかなく、やや不足している。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	書写			
発行者番号・略称				教科用図書番号		
17・教出				1年	2年	3年
				703		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、「振り返ろう」という内容が各単元に設定されており、書く学習の後、授業で何を学んだのかを振り返ることができるよう工夫されている。また、毛筆の単元では筆脈について図で視覚化されている。
- ② 知識技能を活用するために、「考えよう」という内容で話し合いの観点が2点ほど示されており、その観点をもとに、自ら考え、判断しながら学習できるよう工夫されている。また、他の教科や日常生活において活用できるように、単元ごとに「学習を生かして書く」という内容が設定されており、既習事項を活用して表現する力を高める効果が期待される。
- ③ 生徒が、主体的に学習に取り組むために、学んだことを学校生活に生かせる活動場面の写真を多く挙げたり、身の周りの文字に注目する活動を設定したりすることで、様々な場面で自発的に文字に触れようとする意識がつくように工夫されている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、「書式の教室」では、手紙の書き方など、日常生活で活用できるような工夫がされており、探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 効果的に伝える工夫を考える学習として「新聞を書く」内容が設定されており、地域の良さや特質を尊重する態度の育成に大変有効である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 楷書、楷書と仮名の調和、行書と進み、特に行書では基本的な筆使いや点画の連続と省略が朱書き筆の動きでわかりやすくまとめられている。また手本に中心線と補助線があり、形がとりやすい。
- ・ 各単元に「学習を生かして書く」という項目があり、毛筆での学習を硬筆で行うこと、学習したことを日常生活や学校生活に生かすことができるようになっている。
- ・ 見開きで、手本と共に書き順や字を書く時のポイントも掲載されているため、書きながら確認できるようになっている。また手本も二文字が多く、取り組みやすい。

(3) 総合所見

1年から3年までの合本になっており、見出しが学年ごとに色分けされ、3年間の学習の流れがわかりやすい。毛筆で学んだ内容を硬筆でまとめることができ、それを日常生活や学校生活で生かすことができるよう配列されている。また、話し合い活動の観点がはっきりしているため、生徒自ら考え、判断する力も効果的に養うことができる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
38・光村		1年	2年	3年
		704		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着を図るために学習のポイントがわかる「学習の窓」が設定されている。基本的な内容を押さえやすくするために、穂先の動きを視覚化して筆使いを示すなど工夫がなされている。筆使いや準備片付けの手順などが動画で見られるように二次元コードが付されているため、紙面に記された筆順や書き方のポイントは少ない。
- ② 自ら考え、表現するために話し合う活動が設定され、対話のモデルがイラストを用いて示されている。各単元の構成は、考えが深まるように、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3つで構成されているが、どこで何を話し合うか、もう少し明確であってもよい。
- ③ 見通しをもって学習や活動に取り組めるように「学習の進め方」が写真を用いて示されている。また生徒が家庭でも主体的に学習に取り組めるように、ワークブックとして書写ブックが付属している。
- ④ 国語科との関連を図るために、国語科で扱われる教材が多く設定されている。また、体育会や文化祭などの場面で活用できる立て看板や応援旗などの作成例の写真が示されており、特別活動との連携が図られている。
- ⑤ 「全国文字マップ」「多様な文字文化」などを用いて用具の製造工程や文字の役割や背景などが示されている。アイヌの文化が示され、多様な文化に触れることができるように配慮されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・毛筆の学習を生かして硬筆で書く活動を多く取り入れ、取り外しが可能な「書写ブック」では、繰り返し練習、書写テスト、日常に役立つ書式などが示されている。行書の教材では、半紙原寸大の手本が示されている。
- ・UD書体やすべての生徒が明確に識別できる色の組み合わせを使うなど、多様性に配慮している。
- ・毛筆の手本の端に書き順と筆先が朱で示された2色刷手本があり、書きながら確認できるようになっている。

(3) 総合所見

1年から3年までの合本であり、3年間の学習の流れがわかりやすい。B5版であり、机上で配置しやすい大きさである。紙面はシンプルな色使いでまとめられているが、もう少し見出しの色分けがあった方がわかりやすい。また活用教材が少なく、目標や壁新聞など学校生活に必要なものに限られている。

教科 社会

種目 地理

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地理的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎・基本の定着に向けて「チェック」と「トライ」のコーナーが見開きごとにより、問いや活動が効果的にできるように工夫がされている
- ② 知識・技能を活用するために、「スキルアップ」のコーナーが豊富に設けられており、統計資料や地形図の読み取る力を身に付けるための工夫がみられる。また、生徒が自ら思考、判断し、表現するために思考ツールが提示されている。
- ③ 生徒が主体的に取り組むために、単元を貫く探求課題と、1単位時間ごとの課題が「問い」の形で構造的に組み込まれており、発問を通して生徒の主体性を引き出す工夫がされている。「もっと地理」のコーナーを設けるなどが生徒の関心を高める工夫もみられる。
- ④ 他の教科の内容や日常生活につなげられるよう、歴史・公民の関連ページとリンクした二次元コード、「もっと地理」「探究課題」のコーナーなどが設けられており、探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 「赤潮の発生と対策」が取り上げられており、本市の生徒にとって、身近な瀬戸内海の問題を認識できると考えられる。東北の祭りや北海道のアイヌ文化が大きな写真やコーナーで紹介されており、伝統文化について学びを深める効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・世界の諸地域には86ページ、日本の諸地域には87ページが配当されている。各州の冒頭に面積・人口・GDPに関する基礎資料が付されている。
- ・編や章ごとにページ番号の帯の色が統一されており、生徒が使用する際に見やすいように工夫されている。

(3) 総合所見

「問い」を軸に単元のまとまりを重視した紙面構成であり、単元を貫く探求課題の設定、1単位時間ごと学習課題の提示と学習課題の解決、単元を貫く探求課題の解決により、課題解決的な学習が実現できるように工夫されている。また、生徒の主体性が高まるようなコーナーが随所に網羅されている。フォントの強弱が明快で、立体感や陰影の少ないデザインで、学習に集中しやすいつくりとなっている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地理的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		702		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎・基本の定着に向けて、節末に「学習のまとめと表現」のコーナーがあり、地形名を地図中に書き込んだり、ワードチェックで素早く重要語句を確認できたりするよう工夫がされている。
- ② 技能を身に付けるために、「地理の技」のコーナーが設けられており、雨温図や断面図の作成技能の習得に工夫がなされている。また、生徒が自ら思考、判断し、表現するために、節末の「学習のまとめと表現」のコーナーで文章や表にまとめて表現する課題が取り入れられている。
- ③ 「学習コラム」や吹き出しで問いかける人物イラストなどが示されており、生徒が主体的に取り組むための工夫がみられる。
- ④ 日常生活につながられるよう、「地理の窓」や「表現しよう」のコーナーが設けられており、探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 本市の生徒にとって、中国・四国地方の地誌で架橋によるフェリー利用の減少や廃止の問題など身近な問題が取り入れられている。また、沖縄県や近畿地方や北海道地方の学習において、地域の伝統文化に関する写真や資料が豊富で、わが国の伝統文化を学ぶことに適した構成になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・世界の諸地域に 82 ページ、日本の諸地域には 101 ページが配当されている。各州・各地方の冒頭には見開きで写真が大きく掲載され、単元全体の学習テーマが記載されている。
- ・各紙面の情報量が少なく、簡潔な紙面構成に特色がある。
- ・本文ページの欄外に、本文と同じ内容に関連するページが示されている。

(3) 総合所見

各紙面の情報量が少なく、簡潔な紙面構成に特色がある。一枚一枚の写真で着実に地理的な見方や考え方を養おうとする工夫がみられる。情報量が絞られているため、生徒が関心をもち、主体的に学ぶ活動、探究的に学ぶ活動を進めにくい面がある。本市の生徒にとって身近な内容は掲載されているものの、やや少ない。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地理的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
46・帝国		1年	2年	3年
		703		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎・基本の定着に向けて、学習内容を振り返る「確認しよう」のコーナーを見開きごとに設けるなどの工夫がなされている。
- ② 技能を習得するために、「技能をみがく」のコーナーが設けられており、さらに一覧化したものを巻頭に一括して掲載するなどの工夫がみられる。また、生徒が自ら思考、判断し、表現するために「説明しよう」のコーナーを見開きごとに設けるなどの工夫がなされている。
- ③ 生徒が主体的に取り組むために、各単元の導入部に地域を概観できる写真を大きく掲載するなど、関心・意欲を高める工夫がなされている。
- ④ 小学校の学習内容や歴史・公民との関連を確認しやすいように本文下に関連事項を示す二次元コードが設けられている。二次元コードは動画コンテンツにリンクしており、生徒の探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 自然災害の部分では西日本豪雨や南海トラフの問題など重要な防災に関する内容を、中国・四国地方の単元ではフェリーの減便や航路廃止、塩田、造船、ジーンズなど、本市の生徒にとって身近な内容が豊富に取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・世界の諸地域には75ページ、日本の諸地域には100ページが配当されている。各州、各地域の冒頭に大きな写真と全体図、面積や人口が同じ形式で記されている。
- ・見開きページの右端に帯がつけられており、章ごとに色が統一されており、生徒が使用する際に見やすい工夫がされている。

(3) 総合所見

地域の姿が見える写真とイラスト地図は生徒にとって親しみやすいものになっている。また、地域の特徴を着実に理解できるよう明快で簡潔な紙面構成となっており、章末の振り返りも充実している。日本地理の学習において、本市の生徒にとって身近な内容が多く見られ、フォントもはっきりしていて見やすい構成となっている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地理的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
116・日文		1年	2年	3年
		704		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎・基本の定着に向けて、見開きごとに「確認」、節末ごとに「～をふりかえろう」のコーナーを設けるなどの工夫がみられる。
- ② 知識・技能を活用するために、「スキルUP」のコーナーが設けられ、緯度、経度、時差、雨温図などが取り上げられ、学習活動が工夫できるよう配慮されている。また、生徒が自ら思考、判断し、表現するために節末のまとめには、表やシンキングツールを活用して情報をまとめることができるように工夫されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、見開きの導入部に「学習課題」のコーナーを設けたり、各地域の人物の写真を見て考えさせたりするように工夫されている。
- ④ 「自由研究」のコーナーを設けており、各州や各地方のテーマや視点に沿って、学習内容を掘り下げることで探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 本市の生徒にとって、身近な問題である架橋によるフェリー減便、航路廃止の問題が取り上げられている。沖縄の文化、古都の文化、東北の祭りに関する文化など、わが国の伝統と文化を理解できるよう工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・世界の諸地域に75ページ、日本の諸地域には100ページが配当されている。各州、各地域の冒頭に大きな写真と全体図、面積や人口、GDPが同じ形式で記されている。
- ・見開きページの右端に帯がつけられており、章ごとに色が統一されていて、生徒が使用する際に見やすい工夫がされている。

(3) 総合所見

各紙面の情報量が少なく、簡潔な紙面構成に特色がある。地形図と主題図の対比、写真・イラストと統計資料の対比など比較の視点からの工夫がみられる。情報量が絞られているため、生徒が関心をもち、主体的に学ぶ活動、探究的に学ぶ活動を行う上で、配慮が必要である。

教科 社会

種目 歴史

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 歴史的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		705		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、各章ごとに「基礎・基本のまとめ」のページが設けられ、年表や基本語句の確認の記述があり、基礎基本の確認がしやすいように工夫されている。
- ② 知識技能を活用するために、「資料から発見！」の「みんなでチャレンジ」という特集ページが設けられ、資料の読み取りやグループでの対話からその時代の特徴を考えるなど思考力を育成するための工夫があり、効果的である。
- ③ 生徒が、主体的に学習に取り組むために、各章ごとに「まとめの活動」のページが設けられ、マトリックスやくらげチャートなどの思考ツールを使う活動を設定することで、時代の特色を考えることができるように工夫されている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、「地域の歴史を調べよう」のページが設けられ、探求的な学びが期待できる。
- ⑤ 「もっと歴史」のページが設けられ、キャリア教育に重点的に取り組む本市の生徒にとって、社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てることに効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代まで P19～61 (約 16.3%) 中世まで P62～97 (約 13.7%)

近世まで P98～147 (約 19.0%) 近現代まで P148～281 (約 50.1%)

- ・各章の最初のページにイラスト付きで年表が掲載されており、時代の流れをつかみやすくなっている。
- ・さくいんに12ページを割り、語句が出てくるすべてのページを書いており、引きやすい。
- ・ページ全体に図や写真が掲載されているものが多く、視覚的にイメージしやすくなっている。
- ・文章の漢字にルビが多くふられている。

(3) 総合所見

基礎的事項の習得、資料活用の技能などの能力を身につけさせるための工夫が見られる。図や写真などの資料が豊富で、資料の大きさや数、文章の量などのバランスもよく、見やすい。調べ学習をするための補助になるマトリックスやくらげチャートなどの思考ツールを掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組める内容になっている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 歴史的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		706		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 小单元ごとの導入資料の下に歴史スケールが配置され、本時で学ぶ時代が歴史の流れの中のどこに位置するかを意識して学習に入ることができる。また、小单元ごとの学習課題が示され、「確認」で学習活動の焦点化ができる構成となっている。写真や挿絵に付随する吹き出しは思考の視点を示す手引きとなっている。
- ② 小单元ごとに「表現」の課題が設定されている。キーワードを用いて説明する活動、章末部で意見交換をしたりする活動、各章末には「学習のまとめと表現」で時代の変化に注目して時代の特色を記述する活動等が設定されている。
- ③ 「歴史を探ろう」では、具体的な事例や14テーマの特設ページを設けて発展的な資料が掲載され、歴史学習を掘り下げていく内容が示されている。また、学習内容に関連して「歴史の窓」という学習コラムが設定され、興味や関心をさらに広げるための素材が豊富に盛り込まれている。
- ④ 各章の「身近な地域の歴史を調べよう」で、探求的な学習につながる6テーマが示されるとともに、欄外に他分野との関連も記されており、他の教科や日常生活につなげられる配慮がみられる。
- ⑤ 「身近な地域の歴史を調べよう」では、郷土の伝統や文化の学習に取り組む機会が設けられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代まで P17～58 (約 15.4%) 中世まで P59～94 (約 13.2%)

近世まで P95～144 (約 18.4%) 近現代まで P145～288 (約 52.9%)

- ・各章の扉のページで、学習のイメージがつかめるよう、生徒と先生の会話が掲載されている。
- ・单元ごとに「学習課題」「節をとらえる」が配置され、章末には「学習のまとめと表現」として、日本と世界の歴史の関連図が表記されている。

(3) 総合所見

小单元ごとのタイトルの表現は学習内容を切り取り、生徒の興味を引くように工夫されており、主体的な学習へとつなぐ役割を果たしている。豊富な資料は本文の内容に合っており、その読み取りからの授業展開がしやすい。さらに視点を変えてとらえ直す「特設ページ」により多面的・多角的に考察できるようになっている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 歴史的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
46・帝国		1年	2年	3年
		707		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 用語解説が本文横にすぐ見られるように配置されている。各章の冒頭部分に「歴史絵巻」として小学校で学ぶ基本的な重要事項がイラストで描かれている。
- ② 章末の「学んだことを確かめよう」では、各時代の主な出来事を時系列に整理することができるようになっている。記入例もあり、時代の特色をつかむためのグループ活動の手順も細かく載っているため、協同学習に効果的である。
- ③ 「歴史のとらえ方と調べ方」「歴史の大きな流れと時代の移り変わり」を巻頭におき、生徒が主体的な学びを進められるような工夫がされている。また、資料やコラムが豊富で、生徒が興味・関心をもって学習に取り組むことができる工夫がされている。しかし、逆に1ページの分量として、資料や補足説明が多いため、内容が煩雑に感じられる部分がある。
- ④ 「歴史をさぐる」では、12テーマが設定されており、探求的な学習につながる資料が掲載されている。また、第1部で「歴史のとらえ方と調べ方」が示されており、本文の学習を深めるために、欄外に他分野との関連が語句で示されており、横断的に学習することができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代まで P14～57 (約 16.2%) 中世まで P58～93 (約 13.2%)

近世まで P94～147 (約 19.9%) 近現代まで P148～285 (約 50.5%)

- ・近現代史の量は全体の約 50%で、近代の内容が多くなっている。
- ・「タイムトラベル」のイラストなど、大きな資料（写真、絵）などが載せられているページが多い。また QR コードによって、学習の理解を助ける画像などのコンテンツを活用することができる。
- ・太文字部分の文字が「ゴシック体」になっており、大事な語句が見やすくなっている。
- ・文字にルビが振ってあるが、ルビが多くかえって見づらくなっている。

(3) 総合所見

全体的に資料が豊富で、生徒が興味関心をもち学習しやすい内容となっている。資料の読み取りや言語能力を育てるための課題や活動が掲載されており、技能活用能力や思考力を高めるための工夫がされている。しかし、資料が多すぎるページやルビの多さから見づらいつとを感じる部分がある。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 歴史的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
81・山川		1年	2年	3年
		708		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 内容の情報量は多く、かなり専門的に書かれており、中学生にはやや高度な内容となっている。世界史の内容が多く載せられている。「コラム」や「解説」などの補足説明は多い。
- ② 各章末には、「まとめ」が設定されており、学習内容を表で整理したり、自分の言葉で考えや理由を説明したり、記述したりする活動が示されている。しかし、文章を書くための手立てが少ないため、指導に工夫が必要である。
- ③ 生徒が興味・関心をもつような資料やコラムが豊富で、QRコードがついているページもある。QRコードを開くと、「NHK for school」につながり、家庭学習にも活用することができたりする。
- ④ 各時代の始まりには、その時代の年表や資料が見開きで掲載されており、時代が大観できるような工夫がされている。「〇世紀の世界」では、視覚的に歴史の流れをとらえられやすい。しかし、世界との関わりが強くなる近代後期や現代には、そのページが不足している。
- ⑤ 日本の7地域を具体例として地域を通した学習が示されている「地域へのアプローチ」では、地域を大切にする態度を育てる工夫がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代まで P14～61 (約 17.7%) 中世まで P62～101 (約 14.8%)

近世まで P102～153 (約 19.2%) 近現代まで P154～283 (約 48.1%)

- ・古代文明から近代ヨーロッパの動向に関する世界史的内容には 52 ページが割り当てられている。
- ・教科書 1 ページごとの情報量が多いため、字のフォントが小さくなっている。重要語句は「ゴシック体」で書かれているが、フォントが小さいため、字の太さが強調されにくい。
- ・索引ページは 6 ページあり、調べやすいが、字が小さく見にくい。

(3) 総合所見

資料やコラムが多く、生徒が興味・関心をひくような工夫、多くのイラストや表が用いられ歴史を大観しやすいように工夫されている。しかし、内容的には、中学生にはやや高度な記述が見られる。また、資料を詰め込みすぎて、やや煩雑になっている部分がある。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 歴史的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
116・日文		1年	2年	3年
		709		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 小單元ごとに「見方・考え方」が示され、学習課題の解決に向けての手引きとなる。また、「深めよう」で基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をはかり、理解を深める問いが設定されている。
- ② 小單元ごとに「確認」で課題に対して説明する言語活動、各編末の「学習の整理と確認」で地図や年表をもとに説明したり、「アクティビティ」で文字や法、政策など6つのテーマについて時代の特色を記述したりする言語活動が設定されており、生徒が思考・判断し表現するために工夫されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、「歴史+α」、時代の中の女性のコラム、7テーマの特設ページ「歴史を掘り下げる」が設定されている。5テーマで構成される「チャレンジ歴史」は発展的な学習として、歴史を多面的・多角的に考えるために効果的である。
- ④ 『「歴史との対話」を未来に活かす』では、歴史学習のまとめとして現代の課題について歴史を踏まえて考える学習が提示され、キャリア教育との関連を図ることができる。また、小單元ごとに小学校での学習や地理・公民とのつながりが示されている。
- ⑤ 各編に設定されている「でかけよう地域調べ」は郷土理解を深めるために効果的であり、郷土岡山に関わる資料も4項目取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代まで P14～63 (約 17.6%) 中世まで P64～105 (約 14.8%)

近世まで P106～157 (約 18.3%) 近現代まで P158～297 (約 49.3%)

- ・各編末には「学習の整理と活用」が設けられ、その時代の特色について言語活動を用いてまとめる課題が2ページで設けられている。

(3) 総合所見

毎時間の授業の展開に合わせた構成がとられ、生徒が主体的に、学んでいく工夫がされている。レイアウトは見やすく活用しやすいように整えられており、写真や工夫された図版も豊富であり、色調も見やすい。基本的人権や共生社会形成に関わる本文記述が充実し、歴史を多面的・多角的にとらえるための様々な特集ページも多い。生活や文化を掘り下げる思考を育てるための工夫もされており、生徒が主体的に発展的な学習に取り組み、本市が推進するキャリア教育を進める上でも効果的である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 歴史的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
227・育鵬社		1年	2年	3年
		710		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、重要語句の用語解説が本文横にすぐに見られるように配置されており、本文と見比べながら重要語句の解説を見ることができるよう工夫されている。また、各章の冒頭部分に「歴史絵巻」というページが見開き2ページで設けられ、基本的な重要事項がイラストで描かれ、同時に本文ページが示されているという工夫が効果的である。
- ② 習得した知識技能を活用するために、「歴史絵巻」の次の見開き2ページに「虫の目で見ると」というページが設けられ、その時代のイラストから当時の社会の様子を考える課題が設定され、活用力の伸張に効果的である。
- ③ 生徒が、主体的に学習に取り組むために、「歴史博物館をデザインしてみよう」のページが各章ごとに設けられ、歴史的事象をわかりやすく展示する活動を行うように工夫されている。
- ④ 「地域の歴史を調べてみよう」では、探求的な学習につながるページが設定されている。
- ⑤ 写真やイラスト・地図・図解など視覚・補助教材を効果的に配置されている。また、図版はカラーバリアフリーの使用や表示の工夫がされており、本市が取り組んでいる色覚障害への配慮もされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

古代まで P19～68 (約 18.5%) 中世まで P69～102 (約 12.5%)
 近世まで P103～154 (約 19.2%) 近現代まで P155～289 (約 49.8%)

- ・各章ごとに「なでしこ日本史」というページが設けられ、その時代に活躍した女性をピックアップしている。
- ・人物の写真やイラストが多く、事柄と人物をリンクして考えることができるよう工夫されている。
- ・時代ごとに本文の色分けがされており、時代区分がわかりやすいように工夫されている。
- ・文章の漢字にルビが多く振られている。

(3) 総合所見

各章の導入部分に様々な工夫があり、興味関心をもって学習に取り組めるようになっている。特集記事も多く、写真やイラストの配置も効果的で、色使いに色覚障害への配慮もされている。しかし、岡山県関連の記載が少ないため、指導の際には工夫が必要である。

教科 社会

種目 公民

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 公民的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		901		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 見開き上段に、学習課題が示されている。「集める」「読み取る」などの基礎的・基本的な技能を身につけるための「スキルアップ」のコーナーが設けられている。また、巻末には用語解説があり、基本的な語句の解説が記されている。
- ② 各ページの最後にある「チェック」における基礎的な内容をふまえ、学習課題に対するまとめを行う「トライ」が設定されている。「みんなでチャレンジ」では、イラストなどを用いて身近な課題を取り上げ、グループによる対話的な学習が示されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、「見方・考え方」という考えをまとめる活動や、資料の読み取りなどの課題が設定されている。学習内容に関連した発展的な学習として「もっと公民」が用意されている。「集める」「読み取る」「まとめる」では、自主的な学習を促す課題が示されている。
- ④ 他の教科や分野の学習につなげられるよう、他分野、他教科との関連マークが付されており、一部はQRコードから関連する教科書の紙面が確認できるよう配慮されている。全ての章が探求活動の流れで構成されており、探求的な学びが期待できる。特に終章では「持続可能な社会の実現」をテーマに自ら課題を設定して取り組む探求活動が設定されている。
- ⑤ 歌舞伎、日本各地の衣食住や年中行事などについて記されており、伝統文化について理解を深めるのに効果的である。また、北方領土、竹島、尖閣諸島の問題が起こった経緯や解決に向けた取組が記されており、領土問題について理解を深めることができる。第4章の導入の活動の「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」や同章末のまとめの活動の「コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう」は、本市の生徒にとって、キャリア教育の推進に効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会 31p、憲法 37p、政治 52p、経済 52p、地域社会 33p、終章 7p となっている。使い方のガイドンは2p分で、「章の構成の学び方」と「本文ページの構成と学び方」が記されている。見開きを、「興味・関心を喚起する導入資料→学習のめあてを示す『学習課題』→本文→整理とまとめ『チェック&トライ』の流れで構成されている。巻末には「用語解説」が配置されている。公民的な見方・考え方を活用して考察するコーナーの分量に差がある

(3) 総合所見

単元のまとまりを重視した構成がなされている。単元導入時に単元を貫く探求課題を設定し、その課題に迫るために1単位時間ごとに問いを位置付け、単元末でこれまでの問いを振り返りながら探究課題に取り組むといった、学習を段階的に深めていけるような工夫がなされている。1単位時間の中で、公民的な見方・考え方を活用して考察するコーナーの分量に差があるため、学習展開の時間の工夫など、指導の際に配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 公民的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		902		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 見開き左上段に、学習課題が示されている。本文の語句や言葉を補足して、さらに詳しく解説した「測注解説」が記されている。巻末に用語解説があり、基本的な語句に関する解説が記されている。
- ② 各ページの最後にある「表現」で、学習内容の確認と学習内容を活用した説明を必要とする課題が設定されている。「言葉で伝え合おう」ではまちづくりや裁判員制度などの6つのテーマを紹介し、ディベートやプレゼンテーション、レポート作成といった形式で表現活動が設定されている。
- ③ 主体的に学習に取り組むために、「Q」という資料についての、問いかけや活動、活用を意識した「見方・考え方」という課題が設定されている。「読んで深く考えよう」では発展的な学習が用意されている。「読み解こう」では、自主的な学習を促す課題が示されている。
- ④ 他の教科や分野の学習内容につなげられるよう、ページ下部に小学校、他分野、他教科の関連項目が記載されている。全体の学習を通して「どのようにして持続可能な未来を気付くことができるか」について探求していくという形で構成されており、探求的な学びが期待できる。特に終章ではこのテーマに対する「私の提案」を作成する探求活動が設定されている。
- ⑤ 伝統技術を現代に生かすことや、地域の伝統を受け継ぐこと、日本の「美徳」への賛否、異文化理解について記されており、伝統文化について理解を深めるのに効果的である。また、北方領土、竹島、尖閣諸島の問題が起こった経緯とともに、解決に向けた取組が紹介され、領土問題について理解を深めるのに効果的である。第4章の2節末の「起業にチャレンジしてみよう」は、玉野市の生徒にとって、キャリア教育の推進に効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会 22p、憲法 40p、政治 42p、経済 36p、社会保障 20p、国際社会 32p、終章 8p となっている。公民学習を始めるにあたっての説明が 2p 記されている。使い方のガイダンスは 2p 分で、見開きページの見方・使い方について、記されている。「学習課題」→本文→「確認／表現」という流れで構成されている。メディアの活用について 4p 記され、ウェブサイトへのリンクも付されている。

(3) 総 合 所 見

各章の学習を見通す導入ページから、本時、特設、学習のまとめページと一連の学習活動を通じて、生徒の深い理解を促せる構成となっている。視点を変えて学習内容を捉えなおす「特設ページ」では、今日的な課題をテーマとした例を示し、興味深いページも設定されている。導入ページで取り上げている話題は、興味深いものであるが、生徒の実際の生活により密着した話題を取り上げるなどの工夫が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 公民的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
46・帝国		1年	2年	3年
		903		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 見開き左上に、節の学習課題と、ページの学習課題が記されている。「文章・語句に関する関連する資料」「本文の補足説明」「人の声」が記されている。用語の解説が見開きページの中に記されている。
- ② 各ページの最後にある、「説明しよう」に学習内容についての論理的な説明を必要とする課題が設定されている。各節末にある「アクティブ公民」では、対話的な活動が設定されている。「技能をみがく」では、ロールプレイングやディベートといった言語活動に関する学習が掲載されている。
- ③ 主体的に学習に取り組むために、章や節の冒頭に「章の問い」「節の問い」が示され、「資料活用」という課題が設定されている。「やってみよう」では、自主的な学習を促す課題が示されている。章末には「学習を振り返ろう」という語句、図表などを活用した復習課題が設定されている。
- ④ 他の教科や分野の学習内容につなげられるよう、ページ下部に「小学校・地理・歴史との関連」を記している。また、日常生活ともつなげられるよう、「公民にプラス」、「先輩たちの選択」に学習内容に関連する実社会の動きや、実生活での取組の様子がインタビュー形式で掲載されている。終章では「持続可能な社会」の実現に向けての探求活動が設定されている。
- ⑤ 年中行事、狂言などが記され、伝統文化については、受け継がれてきた文化に異文化を調和させながら、それを引き継いだり、新しい文化が創造されたりすると説明されている。北方領土、竹島、尖閣諸島の問題が起こった経緯と解決に向けた取組が記されており、領土問題について理解を深めることができる。SDGsについては、第4部で取り上げられている。第3部の第1章の「アクティブ」の「企業の企画書を完成させよう」や同章の「先輩たちの選択」の「おいしい牛乳を作ってみんなを喜ばせたい」は、本市の生徒にとって、キャリア教育の推進に効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会 25p、憲法 36p、政治 50p、経済 62p、国際 40p、終章 8p となっている。使い方ガイダンスは 2p で、部や章、本文ページの学習の流れが示されており、公民の学習の全体像について記されている。見開きが、興味・関心を引く「導入」→「学習課題」→「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の流れで構成されている。また、タブレットやパソコンで閲覧できるリンクが付されている。現代社会の見方・考え方が「章の学習を振り返ろう」の章末の学習場面にまとめて記載されている

(3) 総合所見

各章の導入では、イラストを用いて学習する内容のイメージがしやすい。また、見通し・振り返り学習がしやすい構造となるよう導入から本文、まとめへと学習が深められるよう問いが設定されている。現代社会をとらえる際に働かせる見方・考え方が「章の学習を振り返ろう」の章末の学習場面にまとめて記載されているため、導入時から本文にかけての学習では、見方・考え方について取り扱う際に、新たにテーマを示すなど、工夫が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 公民的分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
116・日文		1年	2年	3年
		904		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 見開き左上段に、学習課題が示されている。課題について考える手助けとなるチャートや表を「シンキングツールマーク」で示している。また、巻末には用語解説と類似用語集が記されている。
- ② 各ページの最後にある、「確認」では、学習課題に対する自分の考えを説明する問いが設定されている。「情報スキルアップ」では、統計データやグラフの読み方や使い方、新聞の読み方と伝え方などの情報活用能力の向上に必要なテーマが紹介されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、「見方・考え方」では、学習課題の解決の手がかりが示されている。章末には発展的な学習として「アクティビティ」は主体的な学習を促す課題が示されている。章末に「学習の整理と活用」という復習課題が設定されている。
- ④ 他の教科や分野の学習内容につなげられるよう、ページ下部の「連携コーナー」に小学校、他分野の学習とのつながりが発問形式で示されている。また、日常生活とつなげられるよう、「明日に向かって」、「公民+α」に社会参画に関するコラムが掲載されている。特に終章では、既習事項を踏まえ「持続可能な社会をめざして」をテーマとした探求活動が設定されている。
- ⑤ 年中行事、伝統芸能などについて記され、伝統文化について理解を深めるのに効果的である。また、北方領土、竹島、尖閣諸島の問題が起こった経緯や解決に向けた取組、更に、「世界の領土問題とその解決」が紹介されており、領土問題について理解を深めることができる。SDGsについては、巻頭ページで取り上げられている。第3編の2の「明日に向かって」の「職業について調べてみよう」は、本市の生徒にとって、キャリア教育の推進に効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会 28p、憲法 42p、政治 42p、経済 52p、国際 44p、終章 5p となっている。教科書の構成と使い方について 2p にまとめられている。見開きに、学習課題→本文→確認コーナーが設けられ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されている。ICTを用いた活動に対応したページにはデジタルマークが付されている。

(3) 総合所見

各編の導入での、身近な場面の例示に始まり、本文ページから編末のまとめにかけて段階的に見方・考え方を働かせる問いが設定されていて、各編の学習の流れがつかみやすい。また、見方・考え方については、学習課題に対して具体的な例示が「見方・考え方」コーナーで示されており、思考の流れがイメージしやすい。教科書全体を通して、SDGsの観点が各所に取り入れられており、持続可能な社会の形成に積極的に関わる意識を育てつつ、玉野市で特に求められているキャリア教育推進に寄与できると考える。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 公民			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
225・自由社		1年	2年	3年
		905		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 本文中の語句や事柄に関する解説が見開きページの中に記されている。見開き右下に「ここがポイント」として、重要な確認事項を記している。単元末に、重要語句の中からさらに重要な語句を「最重要語句」として記している。
- ② 各章に設定されている「アクティブに深めよう」では、グループ活動の形式を用いて、与えられたテーマについて自分なりの考えを発表する活動が設定されている。また、そのテーマに対して考えを深めるために、文字数を示し、文章でまとめる課題が設定されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、章末の「学習のまとめ」では、自己評価と重要語句の確認が記されている。学習内容を深めるため、単元に関連のある「ミニ知識」が記載されている。「やってみよう」は主体的な学習を促す課題が示されている。
- ④ 他の教科や分野、更に実社会の問題と関連づけた学習内容を、「もっと知りたい」にコラム形式で記されている。終章で「課題の探求」としてレポートからプレゼンテーションまでの手順や論文の書き方の基本が取り上げられている。
- ⑤ 伝統文化について、「文化の継承と創造」について説明されるとともに、日本人の精神、科学・芸術・宗教とは何なのかを解説している。北方領土、竹島、尖閣諸島の問題が起こった経緯や解決に向けた取組が記され、領土問題について理解を深めることができる。第4章の「アクティブに深めよう」の「お店を出店しよう」は、本市の生徒にとって、キャリア教育の推進に効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代日本 22p、社会生活 20p、立憲国家 20p、憲法・政治 55p、経済 44p、国際 41p、終章 17p となっている。「この教科書で学ぶにあたって」と「各章末の学習のまとめと発展の取り組み方」について 2p にまとめられ、公民を学ぶ目的と教科書の使い方についてのガイダンスが示されている。「学習課題」→「本文」→学習内容を振り返る「ここがポイント」の展開で記されている。

(3) 総合所見

見開き右下に「ここがポイント」として具体的なまとめが示されていて、1 単位時間で何を学ぶか分かりやすい。

話題性のある題材が多く、全体的に文章量が充実している。しかし、文字数（文字情報）が多いため、様々な資料を適切に収集、選択して、多面的多角的に考察する公民的分野の学習では、教科書に付け足して、取り扱う事象の関係を図や表にして表すなどの視覚支援が必要であり、使用の際に配慮が必要と感じる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 公民			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
227・育鵬社		1年	2年	3年
		906		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の最初には、小学校との関連内容や章で学ぶ課題について記されている。見開き左上部に、学習課題が示されている。巻末に用語解説があり、基本的な語句に関する解説が記されている。
- ② 各ページの右下に鉛筆のマークがあり、学習課題に対する自分の考えをまとめ、表現する課題が設定されている。各章末には、学習内容を生かして言語活動を行うテーマが紹介されており、「スキルアップ」では発言の仕方やロールプレイング、ディベートの方法について紹介されている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、章の冒頭に、学習内容の趣旨をとらえさせる「入り口」のコーナーが設けられている。発展的な学習として「学習を深めよう」のコーナーが用意されている。「TRY!」は主体的な学習を促す課題が示されている。
- ④ 他分野と関連のあるページには、マークと語句が記されている。「やってみよう」、「学習を深めよう」に身近な話題や実生活の場面への活用につながる話題が取り上げられている。終章ではレポート作成からプレゼンテーションまでの手順や方法を記すなどの配慮がされて、探求的な学びが期待できる。
- ⑤ 文化と生活、伝統文化の影響、文化の継承と創造について、取り上げている。北方領土、竹島、尖閣諸島の問題が起こった経緯や解決に向けた取組とともに、世界各地の領土・領海をめぐる問題が記され、領土問題について思考を深めることができる。SDGsについては、第5章の章末で取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

現代社会 27p、憲法 40p、政治 40p、経済 52p、国際 35p、終章 6p となっている。「なぜ公民を学ぶのか」と「公民について」が 3p にまとめられている。教科書の基本構成と学習の流れについて示されている。見開きが、「学習課題」→本文→「学習のまとめ」という流れで掲載されている。巻末には、「法令」や「年表」、「日本の伝統文化」の一覧表など、学習資料が配置されている。

(3) 総合所見

話題性のある内容を多く取り上げ生徒に興味を持たせるよう工夫されている。見開きの1単位時間の授業だけでなく、各章の導入部で学習内容の趣旨をとらえやすくするための構成がなされ、段階的に多様な言語活動に取り組めるようになっている。各章導入部で取り上げている内容は、展開部の本文で取り上げている内容と同程度の内容であり、導入部に取り扱う内容としては、難易度が高く、生徒が実感を伴って考えることがしづらいと考える。キャリア教育の視点での記載が少なく、使用の際、工夫が必要である。

教科 社会

種目 地図

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地図			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① P5、P6の「この地図帳の活用方法」では、歴史的分野や公民的分野を学習する際の地図の活用方法が説明されている。また、各地方の自然環境のページでは、断面図が示されており山地などの高さを理解しやすい工夫がされている。
- ② P17の「世界の気候区と海流」では、関連する資料として、P167の「世界各地の平均気温・平均降水量」を挙げており、生徒が思考、判断、表現するために必要な資料がどのページにあるのかが分かるようにするために「ジャンプ」という目印で示す工夫がされている。
- ③ P5では「この地図でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」が紹介されている。生徒のキャラクターの発言が、生徒が自ら思考し、判断、表現するためのヒントとなっている。また、P153では、スキルアップとして資料読み取りの問題が用意されており、学習の定着度に応じて、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。
- ④ P36では、歴史的分野との関連で「日本と朝鮮半島との歴史的なつながり」として、日本や朝鮮の古墳から出土したかんむりなどが掲載されている。またP153では、公民的分野との関連で「日本の人口」についての資料が掲載され、各分野とのつながりが記されている。
- ⑤ P102には、県南の工業の特色となるジーンズや身近な観光地であるみやま公園、王子ヶ岳などが記載されている。P104の「高速道路や橋の変化」で身近な交通網の発達が身近な問題として読み取りやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・構成は、世界、日本、統計、索引からなる。
- ・多くの文字には、ユニバーサルデザインフォントが採用され、色についても色覚特性がある生徒にとって見やすい色を使用しており、特別支援教育の配慮がされている。
- ・また索引は、世界の地名と日本の地名、資料索引に分けられている。また、資料索引にはページ数のほかに項目別に資料内容が一覧化されており、使いやすいものになっている。

(3) 総合所見

歴史的分野、公民的分野でも活用できる資料が多くあり、関連付けて学習することで深い学びにもつながるように工夫されている。また、巻末には資料索引があり、テーマに沿って必要な資料を探ることができるように工夫されている。巻末には、「日本の周辺」として地図と竹島、択捉島、尖閣諸島などの写真が掲載されており、領土を巡る問題についても記載されている。生徒が日本の領土を巡る問題について認識を深められるようになっている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地図			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
46・帝国		1年	2年	3年
		702		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① P4～P8「地図帳の使い方」では、小学校の既習事項と合わせて、地図帳の種類や統計の見方などの説明がされている。また、P7ではテーマに沿って地図の見方が示されており、生徒が地図帳を活用しやすく工夫されている。
- ② P92「地図活用」では、資料読み取りの課題と比較する課題が用意されており、地図活用の技能が定着するように工夫されている。他にも「地図活用」が多くあり、生徒が表現する課題や資料読み取りの課題が用意されている。
- ③ P15には「学習課題」が設定されており、学習の進度に応じて生徒が主体的に課題に取り組むように設定されている。P35の「地図活用」では、資料読み取りに加え、資料を活用して説明する課題が設定されている。説明する課題を設定することで、対話的な学びにもつながるように工夫されている。また学習を深めるために、P6ではデジタル教材を紹介する「二次元コード」が掲載されている。
- ④ P107では「江戸時代のおもなできごと」として江戸時代の年表が掲載されている。年表中の関連ある場所を地図上で示し、歴史的分野との関連を図っている。また、P144では、防災と環境の視点に沿った資料が掲載されている。
- ⑤ P94には県南の工業の特色であるジーンズや学生服が地図上に記載されている。また、P96に水島コンビナートの図があり、小学校での工場見学の体験が活かされやすい。P95には県別農業出荷額のグラフもあり、岡山県の特色を捉えやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・構成は、使い方・資料、世界、日本、統計、索引からなっている。
- ・書体をユニバーサルデザインフォントにしたり、色覚特性のある生徒にも判別しやすい色使いにしたりと特別支援教育の視点に沿った工夫がされている。
- ・巻末には手話による地名の表現も紹介されており、聴覚障害の生徒に対して配慮がされている。

(3) 総合所見

サイズもA4と大判化し、レイアウトが統一されているため、見やすさの工夫がされている。また拡張したことで、多くの地域が同じページに入り、地域間の結びつきが捉えやすくなっている。自然災害が少ないといわれている岡山県であるが、防災資料が多く掲載されていることで、防災について考える機会も増え、防災意識を身に付けることにもつながる。また領土については、新たに竹島についての記述も増え、日本の領土を巡る問題について正しく認識できるように配慮されている。

教科 数学

種目 数学

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701	801	901

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 例題と似た問題にダイママークを付け、基礎・基本となる問題を確実に理解してから、そのほかの問題に取り組めるスモールステップの構成になっている。節末の「基本の問題」や巻末の「補充の問題」で、個に応じた効果的な基礎・基本の定着が図れるようになっている。また、巻末の折込ページには既習内容の基本的な知識や技能の確認ができる「学びのつながり」が設けられている。
- ② 「学びをふり返ろう」が随所に設けられており、他者と話し合いながら判断したり表現したりする場面が確保されている。巻末には「大切にしたい見方・考え方」が設けられ、学習で働かせた見方や考え方を振り返り、数学を学ぶことの良さを実感できるような工夫がなされている。「深い学び」のページでは、問題解決の過程を側注に示すなど論理的な考え方を育成するための工夫がなされている。
- ③ 問の側注には、巻末の「補充の問題」の関連ページが示されており、各章の学習内容を繰り返し練習するための問題が掲載されているので、充実した家庭学習につながる。また、巻末の「数学の自由研究」は、自ら進んで考えたり調べたりする課題やレポート作成のポイントなどが示されており、探究的な学びにつながる工夫がなされている。
- ④ 巻末に「数学の自由研究」が設けられており、他教科や日常生活と関連した課題が設定されるなど、数学を用いた探求的な活動内容が示されている。また、QRコードが掲載され、関連する他教科の教科書紙面がデジタルコンテンツで見ることができるよう工夫されている。
- ⑤ 数学が実社会で活用されている例を紹介する特設ページ「学びをひろげよう」では、数学と関わる仕事をしている人の思いやその仕事内容を知ること、数学の学びが将来につながることを実感でき、本市の生徒にとって、教科指導の中でキャリア教育の推進を図ることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「算数の確認」や「ちょっと確認」、単元導入では、小学校の復習や小学校で育んできた見方や考え方をいかし、中学校の学習につなげる展開の工夫がなされている。
- ・わかる授業づくりが支援されるように、各節の始めに学習のめあてや課題が設定され、その後にQや例、問の問題が構成されている。
- ・1年の教科書において、指数の学習の前に素因数分解の学習があり、指導に配慮が必要とされる。

(3) 総合所見

各節の最初に「学習課題」やQを設定しており、見やすいレイアウトになっている。全体的に問題解決的な学習を重視した構成になっており、生徒が数学的な見方・考え方を働かせたり、ふり返って考えたりするための工夫が多くみられる。また、問題解決に必要な基礎・基本を定着させる配慮も充分なされている。1年の教科書において、指数の学習の前に素因数分解の学習があり、指導に配慮が必要とされる部分がある。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
4・大日本		1年	2年	3年
		702	802	902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「Q」の問題を補充し、繰り返し学習ができるように「プラス・ワン」の問題を設けている。また、節のまとめをするための「たしかめよう」には、既習事項を確認するための見出しとページ番号が示されており、理解が十分でない場合には学習したページに戻ることができ、基礎・基本の定着がより図られるように工夫されている。「○章をふり返ろう」では、生徒自らが学習を評価し、今後の学習につなげていくことができるように評価の観点が見出されている。
- ② 第1学年の巻頭に、数学の学習としての問題発見・解決の流れを紹介する折込ページ「数学の世界へようこそ」が設けられており、数学の問題を発見したり解決したりするときに、数学的な見方や考え方を働かせて、新しい問題を発見したり、問題をよりよく解決したりできるように工夫されている。また、各章で学習した内容を、身近な場面で活用したり探究したりする「活用・探求」の問題も設けられている。
- ③ 巻末には、各章ごとの「補充問題」や複数の章の内容を扱う「総合問題」が設けられており、個に応じた家庭学習の充実を図ることができる。また、1・2学年ではその学年で学ぶ重要な事柄を章ごとに、3学年では中学校数学で学ぶ重要な事柄を領域ごとに、学習の要点がまとめられた折込ページがあり、小冊子が作れるようになっているので、学習内容をすぐに振り返ることができる。
- ④ 他教科と関連がある題材を提示して、数学を他教科の学習に生かせるように工夫している。また、他教科と関連がある問題の横には、教科を表すマークがある。「MATHFUL」では、日常の題材を扱ったコラムが紹介されており、楽しく数学の世界を知ることができるようになっている。
- ⑤ 「社会にリンク」では、仕事の中で、数学を使っている人へのインタビュー記事が掲載されている。数学が様々な職業で生かされていることを実感し、学習意欲が高まるように工夫されており、本市の進めるキャリア教育につながるように、配慮されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各節で学習を始める手がかりとなる問題を「考えよう」で出題した上で、めあて、学習活動へ進むレイアウトに構成されている。
- ・各章末にある「ふり返ろう」では、知識や技能が身についたと感じるかなど、振り返る視点とともに各問題番号の横に自己チェックを記入する欄が設けられている。
- ・「社会にリンク」や「MATHFUL」など身のまわりにある数学に目を向ける内容が掲載されている。
- ・少し文字が多くなっているページがあり、見づらさを感じる。

(3) 総合所見

第1学年の巻頭に、数学の学習としての問題発見・解決の流れを紹介する「数学の世界へようこそ」が設定されており、問題解決の仕方が身につけられる工夫がある。巻末には「課題学習」や「社会にリンク」や「MATHFUL」など数学が私たちの生活に生かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる読み物が多数掲載されている。数学への興味を持たせる内容が数多くあり、関心のある生徒には有用だが、少し文字が多くなっているページがあり、見づらさを感じる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
11・学図		1年	2年	3年
		703	803	903

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 節末の「どんなことがわかったかな」では、生徒が学習内容を確認できるようにポイントが要約されている。章末の演習問題「確かめよう」には、類題が扱われており、生徒が復習しやすいような手立てがある。数と式の領域の章末では「計算力を高めよう」のページが設けられており、より基礎・基本が定着するように工夫されている。
- ② 学習の導入「QUESTION」では、中学生の挿絵があり、その中学生の対話から問題について考えるためのポイントが示されている。さらに、問題解決後には疑問形式で示された「次の課題へ！」が設けられており、次の学習の動機づけとなり、より学習内容を深めたり発展させたりできるような工夫がなされている。また、全学年の巻末には「表現する力を身につけよう」が掲載されており、レポートの作成から発表までを意識したポイントや例を提示し、様々な課題でのレポート活動ができるように配慮している。
- ③ 各章末には学びを振り返ることができるコーナーがあり、生徒がセルフチェックできるようになっている。巻末には前学年までに学習した内容も含めた補充的な復習問題や第3学年では入試問題を意識した「総合問題」が設けられている。また、章末の「深めよう！」や巻末の「さらなる数学へ」には発展的な内容が豊富に用意されており、生徒が自ら進んで学習に取り組めるような工夫がされている。
- ④ 「役立つ数学」や「深めよう」には身の回りにある数学の内容を多く取り扱っている。また、巻末には一年間の学習を生かすことができる「さらなる数学へ」があり、日常の事象を用いてどれだけ数学の力がついたかを確かめることができる。また、各学年でSDGsに関しての、探究的な活動の内容が取り上げられている。
- ⑤ キャリア教育の一環として、すべての学年において、数学を実際の仕事に役立てている人のコラム「数学の力」が掲載されており、仕事や社会に生かされる数学の有用性を実感させるような工夫がなされている。また、職業・仕事に関連がある課題には、「関連する職業・仕事」と示している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各学年の巻末に折込ページ「プログラミング学習を体験してみよう」が掲載されている。
- ・各章「問題発見」、「問題について考える」、「まとめる」、「次の問題を発見する」という数学的活動につながる構成となっている。
- ・節によっては右のページから始まるので、生徒にとって教科書を開いたとき、本時の1時間で何を学べば良いかが、ややわかりにくいレイアウトとなっているように感じる。

(3) 総合所見

すべての章で、スムーズな数学的活動につながる構成がされており、生徒にとって学習のサイクルがわかりやすいものになっている。さらに、身の回りにある数学にも多くふれられており、生徒が身近に「数学」を感じることができる。ただ、生徒にとって1単位時間で何を学べば良いかが、わかりにくいレイアウトとなっているところもある。また、他教科との関連性が明確に示されておらず、教科横断的な学習の観点では工夫が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		704	804	904

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 例題と「問」の間に、例題の内容を確実に理解させるための「たしかめ」や、節末の「基本の問題」の側注には本文の例などに戻って、内容を確認できるように学習したページが示されており、基礎・基本の定着が図れるように工夫されている。また、すべての章末には、章で学習した基本的な内容が確認できる「学習のまとめ」が効果的に設けられている。
- ② 深い学びにつながる重要な「問」にはクエスチョンマークをつけて強調し、側注には数学的な考え方や問題解決のプロセスを示しており、生徒が自ら思考し、考えを伝えあいながらみんなで解決する学習活動を促し「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように工夫されている。また、学習した知識や技能にはどのような利点があるのかをイラストの吹き出しを用い、わかりやすく生徒の言葉で示している。
- ③ 巻末には、本文のたしかめや問に対応した補充問題や程度の高い実力アップ問題、また3年の巻末には、領域複合的な問題も掲載されており、授業や家庭学習などで個に応じた学習に取り組ませることができる。
- ④ すべての章のとびらで、数学が日常生活や実社会に利用されている事例などを取り上げ、数学と実社会とのつながりや数学を学ぶ有用性を理解できるようにしている。また、他教科と関連する教材を取り扱ったり、「さくいん」の用語に英訳を付けたりする等の工夫がされている。
- ⑤ 「数学の広場」には、数学を仕事に活用している人のインタビューが掲載されており、仕事内容や数学がどのような場面で役立っているかを知ることで、自分の将来と数学の学びがつながることを実感することができ、本市の生徒にキャリア教育を効果的に行うことができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻末には前学年までの既習内容をすべてまとめた「学びのマップ」があり、いつでも振り返って確認することができ、学習の系統性を理解することができる。
- ・例や例題にはタイトルを付けて学習内容を明示し、どのような内容かを捉えられるように工夫されている。
- ・文字は大きく見やすいが、その分1ページに占める文字の割合が多く、隙間があまりないように感じ、やや読みづらいページがある。

(3) 総合所見

すべての章で、学習の準備や導入課題に取り組ませ、章の学習を進めている。また、章末には「学習のまとめ」や「章の問題」が設けられ、章の学習を振り返り、まとめができるなど、学習内容を円滑に定着できるように工夫されている。巻末には、既習内容をまとめた「学びのマップ」や家庭学習の充実が図れるような補充問題、探究的な学習ができるような問題等が設けられており、個に応じた学習を進めていくことができるようになっているが、文字の割合が多く、隙間があまりないページもあり、やや読みづらい。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
61・啓林館		1年	2年	3年
		705	805	905

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の章末「学びをたしかめよう」で、基礎・基本の定着が徹底できる問題が掲載されている。右端には学習したことへの問いかけがされており、各問題を教科書のどのページで学んだのか、すぐに確認できるようにページ数が掲載されている。また、巻末には「もっと練習しよう」が設けられており、繰り返し練習ができるよう、関連するページと問題番号が表記されている。
- ② 学んだことを表現し、他者と話し合う「話しあおう」、「説明しよう」、「まとめよう」などの、言語活動が設けられている。また、利用の節や項などで、身のまわりの場面から問題を発見し、解決するまでの流れを、「利用場面」、「ステップ1」、「ステップ2」、「ステップ3」の4段階に分けて示されており、自分から問題を発見したり、解いた問題をさらに発展させたりする力を育成する工夫がなされている。
- ③ 裏表紙から進めていく「自分から学ぼう編」では、補充的な問題や発展的な問題だけでなく、入試問題が掲載されており、生徒が意欲とともに学力をより高められるように構成されている。また、「学びのあしあと」では、学びの記録をつけることができ、自分から進んで学んでいくことの楽しさを実感することができる。
- ④ 「学びをいかそう」や「数学ライブラリー」というページが設けられており、「制作費」や「AED」や電車の「ダイヤグラム」などの、日常生活につながる題材が取り上げられている。数学での学習内容が、他教科と深く関わっていることが実感できるような問題が掲載されている。
- ⑤ 「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」などでは、各学年に「社会見学にいこう」やさまざまな職業に関連する題材が掲載されているなど、本市が進めるキャリア教育への配慮がなされている。また、「緊急地震速報」や「災害から身を守ろう」など、防災意識を高められるような工夫もなされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻頭から始まる「みんなで学ぼう編」と、巻末から始まる「自分から学ぼう編」で構成されている。
- ・色付きの枠で囲むなど、大切な語句やポイントが分かりやすく、見やすいようにレイアウトされている。
- ・ページの下段には、何を学んだか確認できるようになっている。
- ・QRコードが設けられており、問題を解くときの大切なポイントや、詳しい解説を見ることができる。

(3) 総合所見

巻頭から始まる「みんなで学ぼう編」と巻末から始まる「自分から学ぼう編」で構成されていて主体的に学びに取り組めるように工夫されている。教科書の様々なところにQRコードを配置して、授業の補助や家庭学習のサポートなど様々な場面で活用できるようになっている。「力をつけよう」では、章の学習が終わったあとに取り組み、総仕上げができるように工夫されている。問題の難易度のバランスが良く、個々の理解度に合わせて学習を進めていくことができるようになっている。また、さまざまな職業に関連する題材が掲載されているなど、本市が進めるキャリア教育への配慮がなされている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
104・数研		1年	2年	3年
		706	806	906
		707	807	907

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の学習に入る前に、その章に関連する既習事項を確認するページが設けられており、基礎・基本の定着を図る工夫がなされている。さらに、ページの側注にも既習事項の「ふりかえり」が記載されており、つまずきを軽減するよう配慮されている。また、間違えやすいことや忘れやすいことなどはキャラクターの発言を用いて確認するように工夫されている。
- ② 問題解決の見通しや解決の過程などを登場人物の対話という形で示して、論理的な考え方をイメージさせるような工夫がなされている。しかし、それらの表示の仕方に統一感がないことや意図的に間違いの例や考えを示していることから、生徒が混乱してしまうことも考えられる。さらに、授業で実際に生徒から引き出したい気付きなどについても掲載されているため、生徒が自ら気付き、考えを表現させる場面では配慮が必要である。
- ③ 巻末に「チャレンジ編」として、補充的な内容の「力をつけよう」と応用的な内容の「力をのばそう」が設けられており、それぞれの側面から自主的な学習を促す工夫がなされている。また、別冊に「探究ノート」が設けられており、本冊とリンクさせながら学習内容をさらに深め、発展させるための素材が掲載されている。
- ④ 巻末の「数学旅行」や本文中の「みつけよう」、別冊「探究ノート」の「課題学習」などにおいて、他教科や日常生活と関連した課題について数多く触れられている。数学の学習内容が、他教科と深く関わっていることを実感できるようになっている。
- ⑤ 巻末の「数学旅行」では、身の回りで活用されている数学について様々な視点から迫っており、現代の諸問題にも数学を活用する必要性を感じさせる意図がみられ、本市の進めるキャリア教育の観点からの配慮が感じられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・本冊と別冊「探究ノート」の分冊構成になっている。本冊の側注には別冊「探究ノート」の該当ページを示すマークが示されており、本冊で学習した内容をもとに、別冊において新たな課題に取り組む「探究」と身のまわりの課題を解決する「課題学習」に取り組むことで学びを深めるような工夫がなされている。
- ・本冊の本文では、めあてや課題などが様々なマークや枠などを使って目立つように工夫されている。
- ・誌面が賑やかになりすぎている印象があり、生徒にとって何が重要なポイントなのかが分かりにくいように感じられる。

(3) 総合所見

全体を通して、数学と日常の事象を関連付けながら学習を進めるための工夫が多くみられる。また、既習事項を確認しながら学習を進める配慮も随所に見られる。さらに、キャラクターを用いた対話場면을掲載することで、思考の過程がイメージしやすいようにつくられている。しかし、誌面が賑やかになりすぎている印象があり、生徒にとって何が重要なポイントなのかが分かりにくいように感じられるため、生徒のみで試行錯誤しながら取り組ませる課題場面では配慮を要する。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 数学	種目 数学			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
116・日文		1年	2年	3年
		708	808	908

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各章の前に、関連する既習内容を復習できるページが設けられている。また、各節の冒頭には「例」や「問」、めあてが示されており、その節で学ぶ内容が明確となり、より基礎・基本が定着できるようになっている。節末には「基本の問題」、巻末には「補充問題」や前学年の復習問題が充実している。
- ② 日常や社会の事象、数学の事象から問題を見出し、自分で考え、対話を通して学び合えるように問題解決の過程を示した「学び合おう」が掲載されている。更に、巻末に切り離して使えるワークシートが用意されており、自分の考えを整理し、互いの考えを伝えやすくすることができ、より考える力や説明する力を高めることができるように工夫されている。
- ③ 「問」を早く終わらせた生徒が、自主的に取り組めるように、「問」の横に「チャレンジ」として少し難しい追加問題を示している。また、巻末には補充問題が用意されており、生徒が主体的に授業の終盤で取り組んだり、家庭学習で復習したりすることができる。
- ④ 巻頭見返しには「数学を見つけよう」や、各章の内容に関連した話を紹介した「数学のたんけん」が設けられており、自然現象や美術作品など身近なところに数学が隠されていることに気づかせたり、他教科等とつながった学習内容や数学の歴史を学ばせたりすることができるようになっている。
- ⑤ 暮らしの中で活用されている数学の話を課題にした「暮らしと数学」や数学を仕事に生かしている人の話を紹介した「数学を仕事に生かす」が設けられており、仕事、日常生活や社会に生かされる数学の有用性を実感することができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「算数の確かめ」や「次の章を学ぶ前に」が設けられており、既習事項を復習したり、学び直したりすることができるように構成されている。
- ・巻末には、個に応じた学習の充実が図れる「数学マイトライ」や教科書に出てくる用語をすぐに調べられるように「さくいん」が設けられている。
- ・裏表紙等に「図形のまとめ」が設けられているが、他の領域がないため、1年間の内容を簡単に振り返るためには工夫が必要である。

(3) 総合所見

すべての節において、深い学びが実現できるように問題解決の過程が見えるような構成となっている。巻末には、自分の考えを整理し、互いの考えを伝えやすくすることができ、より考える力や説明する力を高めさせるワークシートが設けられている。さらに、巻末の「数学マイトライ」では、個に応じた家庭学習や課題学習の充実が図れるような補充問題や研究課題、数学を通してのキャリア教育に関するコラム等が十分に設けられている。ただ、裏表紙には図形領域のみのまとめであるため、1年間の学習内容をスムーズに確認させる手立てが必要である。

教科 理科

種目 理科

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701	801	901

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻頭の「科学はこんなに便利」「科学で調べていこう」では、教科への興味や理科への学習意欲を向上させるような記述がされている。
- ② 2次元コードやインターネットの活用が紹介され、授業で興味をもった生徒が自主的に学習に取り組んだり、発展的な内容にチャレンジしたりできるような工夫がされている。さらに、「発展 高校」では、高校で学習する内容を紹介することで、生徒のチャレンジしてみようという気持ちをかき立てることに繋げるとともに、本来の学習内容の理解が深まるように工夫されている。
- ③ 「学習内容の整理」では、整理しながら内容を理解でき、続く「確かめと応用」で問題に挑戦し、自分自身で理解度の確認ができるように工夫されている。さらに興味を伸ばすために、「科学の本だな」で、関連書籍が紹介され、生徒の好奇心を満足させるようになっている。さらに「章末」として単元の終わりにまとめがされており、学習をまとめるのに役立つ。コラム「科学の歴史」で、マンガで偉人の功績などが紹介され、さらに興味を引き、読みやすくなっている。
- ④ 巻頭に研究の進め方が紹介され、実験の進め方の指導に活用できるとともに、既習事項、関連内容にアンダーラインを引くことで、個人でのふり返しだけでなく、他教科とのつながりを意識した学習ができるような配慮がされている。
- ⑤ 単元末の「from Japan 世界につながる科学」では、学習内容が実世界でどのように活用されているかを紹介し、生活の身近な事項や場面を想起させる構成となっている。学習内容を頼りにじっくり考える事により、産業が科学の上に成り立つことが想起しやすく、本市の進めるキャリア教育に活用しやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・表紙には、学習内容に関係する写真を載せ、生徒の興味付けに役立つものとなっている。また、理科室での決まりや実験器具の基礎操作、実験の手順等の解説、実験・観察の注意点がわかりやすく表示されている。
- ・巻末には、「学びを広げよう 自由研究」で、授業時間への配慮とともに、巻末資料として「薬品のとりあつかい」「科学であつかう量」「理科の学習を深めよう」「学んだことはいつわかったか」が掲載され、生徒の知識の整理に役立つようになっている。
- ・新学習指導要領に沿った編制により、生徒が思考したことを表現する内容が多く取り扱われるなど、取り組みやすくなるような工夫が随所に施されている。
- ・教科書自体の情報量が多く、授業者が柔軟に取り扱うことが難しい。

(3) 総合所見

全体的に写真が豊富に掲載され、生徒の関心が高まり、教科書に親しみをもちやすくなることが期待できる。その結果、理科への興味をかき立て、学習の意欲を高められるようになっている。単元末には、振り返りの問題が用意され、基礎的内容の定着を図ることができる。また、生徒の主体的・対話的で深い学びへの手順が示されていること、ICT活用の際のつまずき対応など、生徒自身の力で探究する際の手助けとなるよう配慮されている。しかし、教科書自体の情報量が多く、授業者が柔軟に取り扱うことが難しく、生徒の状況にかかわらず、授業が画一化してしまう可能性が危惧される。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科
発行者番号・略称		教科用図書番号	
4・大日本		1年	2年
		702	802
		3年	902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、各単元の冒頭に既習事項「これまで学習したこと」、各単元末には内容の「まとめ」と「単元末問題」が設けられており、巻頭には「学習の進め方」、巻末には「観察実験の基本操作」を掲載するなど、探求の過程がわかりやすく示す工夫が見られる。本編の記載はシンプルで、学習内容の記述と図版の組み合わせになっている。
- ② 知識技能を活用するために、各単元で初めに問い、観察・実験では「着眼点」、終盤に「結果の整理」「結果から考えよう」などの活動や、結果の例、課題解決につながる他の観察・実験等が紹介され、生徒が自ら思考し、判断・表現するための工夫がなされている。
- ③ 生徒が、主体的に学習に取り組むために、各単元末に「読解力問題」が設けられている。各巻末には、科学館や博物館の紹介や調べ方の例、「自由研究にチャレンジしよう！」の項目に研究例が示され、生徒が主体的な活動をしやすいように工夫されている。
- ④ 「くらしの中の理科」「Science Press」では日常生活や身の回りの現象とのつながりや利用、技術や発展的な内容が紹介され、「つながる」では他教科との関連が取り上げられており、探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 「Professional」では理科に関する職業や仕事などの資料を掲載しており、自分たちの将来の職業について考えるヒントとなるよう工夫されている。また、持続可能な開発目標（SDGs）の観点にも配慮し、地球規模のさまざまな問題を、地球の一員として意識できるよう資料や構成を工夫しており、玉野市の生徒にとっても、持続可能な開発目標（SDGs）に対して主体的に行動できる人材となりうる効果が期待できる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各単元の冒頭に「これから学習すること」が示されている。
- ・観察実験では「問題を見つけよう」等、探求の過程に沿った活動が設定されているが、それ以外の部分は学習内容の記述や図版となっている。
- ・「思い出そう」では小学校の学習、「発展」では高等学校の学習とのつながりがそれぞれ示されている。「思い出そう」の記述欄が小さく、若干扱いにくい。
- ・資料写真が豊富で質もよく、知識や思考を深める効果が期待できるが、サイズが小さい。
- ・生徒にとってわかりにくい用語については、欄外に簡潔な解説が設けられている。

(3) 総合所見

全体的にシンプルな構成で、単元の扉の写真や、見通しを持って学べる工夫など、生徒が主体的に学び基礎基本を定着させられるような工夫が見られる。B5版と小さいが、見開きでも全体が見やすく、生徒が目すべき箇所がわかりやすい。教師が工夫も取り入れながら授業展開をしやすい構成となっているが、自ら工夫して生徒に探求させるプロセスを入れて授業を構成するのが難しい。地学分野の資料写真も豊富で見やすく、理解の助けとなるが、一つ一つのサイズは小さい。教具は一切付帯していないので、観察実験以外の模型やモデル等を使っでの学習は教員が制作することになる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科
発行者番号・略称		教科用図書番号	
11・学図		1年	2年
		703	803
		3年	903

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 章の始めの「学びのあしあと」には、既習事項が載せられ、学習前や学習中にふり返しを行うことができ、既習事項を活用できるような配慮がされている。さらに、ふり返しポイントが示されており、学習内容をふり返しやすくなっている。また、章末には、学習内容を振り返るための問題が用意されているが、記述問題中心のため、学習に困難さを抱える生徒には、使用上配慮が必要である。
- ② 巻末には「学びの交換－アイデアボード－」が用意され、自分の考えを書いたり、他の人の意見を聞いて書いたりすることで、授業中のグループでの意見の交流活動に活用でき、考えを深めることが期待される。また、巻頭の「理科のトリセツ」では、理科を学習する意味、理科の学び方、知識の活用の仕方、将来への役立て方が説明されており学習への向き合い方が丁寧に示されている。
- ③ 章の始めに「Can-Do List」があり、学びに向かう際の注意点、身につけたい知識・技能、知識の活用の仕方が明示されている。また、「この時間の課題」では、厳選された記述により何が重要な概念か示しており、一目でわかるようになっている。さらに、「教えて深める」では、わかりやすく説明するために、気をつけるべき点を考えさせるなど、深い学びとなるように工夫がなされている。
- ④ 「サイエンスカフェ」では、学習内容に関連する科学現象が取り上げられており、ニュースなどで時折話題となる事柄への切り口となり、学習内容から迫れるようになっている。また、「理科のトリセツ」では、探究の過程が詳しく示され、学年ごとの探究の重点や実験の結果と考察例を豊富に示すことで、生徒の考察力の成長が期待できる。
- ⑤ 外国籍の生徒にも配慮したQRコードが掲載されており、アプリとの連携が図られる。ただし、QRコードによるアプリはソフトのマニュアルなどがなく、使用には配慮が必要である。また、学習指導要領の改訂により実験機器等が必要であるが、考察中心の実習も提案されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「理科のトリセツ」で関連内容の紹介、教科書の使い方の説明、ふり返りの大切さを伝えるとともに、「教科書の使い方」で、学習の進め方を解説しつつ、理解が進むように「授業を受けるコツ」が示されている。

(3) 総合所見

「学びの交換」は面白いアイデアであり、授業で活用する場面や発問、そのための資料についての検討、グループ討議における意見交換での活用、科学的根拠をもとに現象を捉え考察する場面での活用など、汎用性が高い。しかしホワイトボードのように黒板に貼ることはできず、クラス全体への意見交流は難しそうである。また、「学び続ける理科マスター」を設け、学習を通して自分の変容を確認したり、他への発信により考えを深めたりできるなど、より深い学習に取り組めるような配慮がなされているが、その配慮が細かすぎため、説明に時間を要する可能性があるため、実情に応じて取扱時間を変えることが必要である。特に、実験での記載が細かく、器具や設備など活用の際、配慮が必要と思われる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科			
発行者		番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年		2年		3年
		704		804		904

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、重要語句は太字とオレンジ色で目立つように記載され、読み仮名がふられるなどの配慮がされている。図やイラスト、写真等を使ってさらにイメージしやすいように工夫されている。1年は「生物カード」、2年は「原子のモデルカード」、3年は「星座早見」が巻末に付属されている。
- ② 知識・技能を活用するため、各巻の巻頭で「探究の進め方」が示されており、生徒がスムーズに探究活動が行えるように工夫されている。また、内容ごとに「疑問」「課題」が示され、「仮説」や「計画」を立てて探究するスムーズな構成になっている。各単元の冒頭でその単元のめあてとなる投げかけも行われており、探究心をくすぐる工夫がなされている。
- ③ ウェブサイト「まなびリンク」につながるQRコードが用意され、科学館や博物館などのページにリンクされており、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。「ハローサイエンス」という欄では最新の科学情報や研究などが紹介され、発展的な内容に触れている。
- ④ 理科と関連が深い数学の学習内容が要所で特集されたり、「ハローサイエンス」の欄で地理や歴史、伝統文化や文学、家庭科などとの関連を紹介したりするなど他教科とのつながりが意識できるように工夫されている。3年の「自然災害と私たち」では他教科の学習との関連を考えることで、中学校での学習を総合的につなげている。
- ⑤ 「科学者列伝」で、日本の研究者の偉業や研究成果、世界に与えた影響などが数多く紹介されている。3年の巻末資料では歴代のノーベル賞受賞日本人研究者とその業績が紹介されている。本市の児童生徒にとって、これらの研究者の活躍や実生活との関連を意識させる内容は、自らの将来を考えるうえで非常に有益である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各単元、各章の冒頭で、関連する写真とともにそこで生まれる疑問とこれから学んでいくことが示されている。
- ・冒頭で関連する既習内容が、章末で関連する高等学校の発展的内容が紹介され、学びの連続性が感じられるように工夫されている。
- ・内容ごとに「疑問」「課題」「仮説」「計画」「実験・観察」「結論」というスムーズな流れで構成されている。しかし、逆に自由度が減ってしまい、それぞれの教師による授業展開の工夫や生徒の実態に応じた指導の工夫がしにくく、画一的な授業に陥る危険性がある。

(3) 総合所見

科学的探究の流れを意識した構成になっている。過去の学習との関連や他教科との関連、高等学校での学習へのつながり、私たちの生活とのつながりなど、キャリア教育を意識した流れは、本市での活用に有用である。最も関連の深い数学とのつながりも具体的に記されており、復習しやすい。また、重要語句の整理や練習問題の付属など、基礎知識の定着もしっかり行われている。実物を見たり、触れたりすることが難しい地学分野での効果的な写真やイラストの使用により、生徒が理解しやすいような工夫がなされているが、構成に関しては画一的な授業に陥る可能性がある。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科
発行者番号・略称		教科用図書番号	
61・啓林館		1年	2年
		705	805
		3年	905

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「学ぶ前にトライ」が各単元導入に設定されていることにより、学ぶ目的・各章の本質的な問いが明確化されている。また、各章末の「基本のチェック」で基本的な用語が確実に理解できるよう配慮されている。さらに、観察・実験のまとめなどが丁寧に扱われており、基礎・基本の定着につながる工夫がなされている。
- ② 生徒が自ら思考、判断、表現するための「探究ラボ」、根拠ある仮説の立て方や仮説を検証するための実験方法の計画、実験結果の分析や結果の表現などをまとめた「探究シート」が掲載されており、活動が行いやすいよう工夫されている。また、探究の過程が全ての実験に書かれており、見直しをもって探究活動に取り組めるようになっている。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組めるよう、タブレットやスマートフォンなどを使い、教科書のQRコードを読み取ることによって、実験装置の使い方や顕微鏡観察等の動画を家庭でも閲覧できるよう工夫されている。
- ④ 生徒にとって身近な「部活ラボ」や「お料理ラボ」「減災防災ラボ」など多くのコラムを随所に取り入れることで、興味を高める効果が期待できる。また、「なるほど」「深めるラボ」や各単元末の「ひろがる世界」などでの他教科との関連・最新の研究成果の紹介により、理科の有用性が伝わるよう工夫されている。
- ⑤ 玉野市の生徒にとって、各実験・観察などでの探究活動の解説も丁寧になされており、生活に身近な事象を扱うコンテンツも多いことから、自然の事物・現象について進んで関わり、理解を深め、科学的に探究しようとする態度を養うのに効果が高い。特に、「みんなで解決」で仮説を立てたり学んだ知識を活用したりするため、対話的な学びにつなげるのに効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「学びの見直し」や「学ぶ前にトライ」「学んだ後にトライ」が設定されており、単元の学習前後での考え方の変容を生徒自身で確認することで、学びの達成感につなげることができる。
- ・「つながる学び」で小学校の既習事項の確認を行い、「高校化学へ」などで高校理科を意識することで学校間の接続が確認でき、系統的な学びになるよう工夫されている。また、他教科との関連がマークで明示され、カリキュラムマネジメントや、教科横断的理解を深める手立てとなっている。
- ・本文や見出し、配色などにユニバーサルデザインが用いられることで、色覚の個人差なく学習に取り組める配慮がなされている。また、行間を広くする工夫がされているため、本文を読みやすくなっている。また、見やすい写真や図をページ上部や周辺部にレイアウトすることにより、視覚的に内容を理解しやすくなっている。

(3) 総合所見

どの生徒にとっても、見直しをもって科学的に探究する活動を段階的に行うことができ、思考力・表現力を高める工夫が随所にみられる。また、本文や実験後の解説も丁寧な記述が多く、大きく見やすい図や写真を効果的に配置するなど、理解を深める手立てがなされている。授業だけでなく、QRコードからの動画閲覧など家庭学習を主体的に取り組むための仕掛けもあり、学びに向かう力を高める工夫がされている。

教科 音楽

種目 音楽（一般）

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽（一般）			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		701	801	802

（1） 内容の特徴及び表現

- ① その単元・教材で身に付けるべき「楽語」がページの右端に記載され、巻末の楽典の内容を記述したページとリンクが図られており、基本的内容を確認できる工夫が施されている。楽典の内容や楽器の説明が見開きでまとめられており、情報量も十分で、理解深化が図りやすくなっている。
- ② 言語活動を想定した「話し合おう」では、教科書に直接自分の考えを書き込むことができるようになっており、主体的・対話的で深い学びに向けたグループワーク等を導入しやすい構成になっている。創作では、活動内容が例示されており、活動例を参考にしながら段階的にワークシートに記入することで、創作活動が容易になるよう配慮されている。
- ③ QRコードを読み込むことによってアクセスできるウェブサイト「まなびリンク」が開設されており、当該サイトには充実した内容のコンテンツが豊富に用意されているため、自宅でもワークシートをダウンロードしたり、楽曲を鑑賞したりできるシステムが構築されている。
- ④ 「私たちのくらしと音楽」では、著作権・教育活動・音楽療法など生活や社会の中で役立つ音楽の具体例が示されている。また、アウトリーチについてもその様子などが記載されている。
- ⑤ 我が国の四季折々の美しさなどを感じ取れる曲が「日本の歌 みんなの歌」として設定されている。また、我が国古来の音楽である箏曲や雅楽においては口唱歌を用いて体験することによって、よりいっそう学びを深めることができるよう配慮されている。

（2） 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻頭には、歌唱共通教材の歌詞・写真や、取り扱う教材の作曲者による自筆譜などが掲載され、前半に表現教材（歌唱・創作）、中盤に鑑賞教材、後半は合唱曲等が配置されている。内容・分量共に過不足のない内容となっている。
- ・目次の「学びのユニット」では、音楽を形づくっている要素が円形のイラストで分かりやすく示されているが、教材のページには該当項目の記載がなく、学習内容を意識しにくい配置になっている。また、単元によっては情報量が多すぎるものもある。

（3） 総 合 所 見

ウェブサイト「まなびリンク」の充実度を筆頭に、全般的に情報量が多く、主体的に発展的な学習を進めることが可能な内容になっている。一方で楽曲同士の特徴を比較し、それぞれの良さを味わう活動は難易度が高く、単元によっては情報量が多すぎるものもあり、活用するには活動内容を精選して提示するなど、一定の配慮が必要となる教材もある。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽（一般）			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
27・教芸		1年	2年	3年
		702	803	804

(1) 内容の特徴及び表現

- ① その単元・教材で身につけるべき「音楽を形づくっている要素」がページの左端、「楽語」がページの右端に記載されており、巻末の「音楽を形づくっている要素」や「音楽の約束」のページでは、それぞれの基本的内容を容易に確認できる工夫が施されている。
- ② 「深めよう音楽」では、基礎的な学習内容を土台として、さらに表現等を深めるためのヒントが示されている。「My Melody」「Let's Create!」では、課題にそって創作活動ができるようにワークシートが工夫されており、記譜が苦手な生徒でも音高やリズムの変化を視覚的にとらえることができるように構成されている。
- ③ 巻頭に演奏者や作曲者の言葉が掲載されており、意欲喚起の一助となっている。「曲のよさをプレゼンしよう」などでは、持っている知識や技能を生かして、より主体的に音楽に関わり、自分の思いや考えをアウトプットするコーナーが設定されている。作曲者・作詞者や時代背景などの学習内容を確認するためのQRコードが示され、自ら進んで補完的な学習ができるようになっている。
- ④ 「生活や社会の中の音楽」「社会を映し出す音楽」では、日常生活の中で音楽が果たしている役割や効果について紹介されている。また、アウトリーチによる体験学習の価値や効果についても触れられている。
- ⑤ 日本古来の自然や、四季の美しさを感じ取れる曲が「心の歌」として設定されているだけでなく、郷土の民謡・祭り・芸能について学びを深める単元も設定されており、生まれ育った郷土の文化と音楽を通じて向き合う事ができる内容になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・前半に表現教材（歌唱・創作）、中盤に鑑賞教材、後半に合唱曲等が配置されている。「指揮してみよう」等では3年間で系統的に資質能力が高まるよう工夫されている。
- ・内容、構成、分量共に充実しており、難易度等を意識して順序よく教材が選定されている。
- ・目次の後に「学習内容」として、それぞれの題材や楽曲で扱う音楽を形づくっている要素や身に付けるべき資質・能力が図式化して示されており、学習を積み重ねることによって身につく力が大変わかりやすくまとめられている。

(3) 総合所見

全体の構成や教材の配列に優れ、生徒の発達段階に応じた適切な楽曲や題材が採用されている。必要な情報が簡潔にまとめられており、ワークシート型のページも多く採用されている。楽譜や写真などの資料も豊富であることから、自宅等でも主体的に学習に取り組み、必要な知識や技能を身に付けることができる構成となっている。

教科 音樂

種目 音樂 (器樂)

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽(器楽)			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		751		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① いずれの楽器においても、基礎的な内容が丁寧に取り上げられており、姿勢等のポイントについては様々な角度から撮影された写真を複数使用するなどの工夫が見られる。一方で、やや難易度が高い練習曲が掲載されており、活用する際に配慮が必要だと考えられる。
- ② 「音のスケッチ」では楽器を使用した創作が取り上げられており、基礎基本を生かした発展的な活動を行うことができるようになっている。また「何が同じで、何が違う？」では教科書に意見を記述するスペースがあり、似て非なる楽器同士を比較し、その特徴を言語化して協議できる環境が整えられている。
- ③ QRコードで楽器の解説や模範演奏が確認できるウェブサイト「まなびリンク」が開設されており、家庭学習等を通じて主体的に学びを深めることができる工夫がなされている。楽器ごとにまとめの曲が設定されており、到達度を確認することができるようになっている。
- ④ 「何が同じで、何が違う？」の活動を通じて、異文化で生まれた同族楽器の特徴を考えると同時に、「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」で、諸外国で使用される同族楽器が紹介され、世界における音楽文化が学習できるようになっている。
- ⑤ 和楽器と諸外国の楽器を比較し、その文化の違いに目を向けることによって、わが国固有の文化について改めて意識し、郷土を愛する心情をはぐくむことができるように構成されている。また、和楽器においては口唱歌が用いられ、日本文化の特徴に触れることができる内容になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓、楽曲の順で掲載されている。いずれの分野からでも導入が可能だが、「何が同じで、何が違う？」の活動を実施するためには、同族楽器をすべて体験しておく必要があり、長期的展望に立った計画の立案が必要になる。
- ・リコーダーについては既習事項とのリンクが意識されており、系統的・継続的な指導が可能になっている。
- ・和楽器に多くの分量が割かれている一方、西洋の打楽器の掲載が非常に少なく、偏りが見られる。

(3) 総合所見

楽器の技能習得のみに焦点を当ててではなく、主体的・対話的で深い学びを促進する活動も含まれており、非常に多くの情報が掲載されている。一方で、難易度の高い楽曲が掲載されており、活用する際には到達段階に合わせて内容を精選するなど、一定の配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽(器楽)			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
27・教芸		1年	2年	3年
		752		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① いずれの楽器においても、基礎的な内容が中心となった紙面構成であり、それぞれの楽器に初めて触れる生徒でも抵抗なく楽器に親しむことができるよう工夫されている。「楽器を知ろう」「演奏を聴こう」では楽器の歴史等について知ることにより、学習意欲の高揚が図られている。
- ② 巻頭の「アンサンブルセミナー」をはじめ、巻末にも複数の楽器を活用するアンサンブル譜が多く掲載されており、発展的な学習に取り組む環境が整備されている。また、「My Melody」では箏を活用した創作が紹介されていたり、「深めよう音楽」では言語活動の具体例が取り上げられたりしている。
- ③ アルトリコーダーの導入では、既習事項であるソプラノリコーダーで演奏する場合の楽譜を併記することで、主体的にアルトリコーダーの運指が習得できるようになっている。QRコードを読み込むと、教科書で扱う演奏者が紹介され、意欲喚起の一助となっている。
- ④ 「アンサンブル」や「楽器でMelody」では、日常生活でよく耳にする楽曲を多く採用し、音楽と社会生活の関わりを実感できる構成になっている。巻頭の「音楽って何だろう」では、日常生活や社会の中のどのような場面で楽器が演奏されているか分かる写真が、多く掲載されている。
- ⑤ 和楽器において「家庭式縦譜」「文化譜」「口三味線(唱歌)」などの解説に図や写真を用い、わかりやすく扱われている。また和楽器が各地の伝統的行事等で活躍している様子が紹介され、わが国固有の文化と音楽の関わりを実感できる内容となっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・楽曲、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、楽曲の順で掲載されており、必要に応じてどの分野からでも取り扱うことができるよう構成されている。
- ・リコーダーについては、既習事項とのリンクが強く意識され、系統的・継続的な指導が可能になっている。
- ・和楽器については種類が多岐にわたることから、それぞれの楽器について単元を分けて細やかな記述がなされている。

(3) 総合所見

いずれの楽器についても基礎的な内容と発展的な内容が示されており、生徒集団や個々の達成状況に応じて教材を選択することが可能になっている。楽譜等のレイアウトも簡潔で見やすく、教材も親しみやすい内容のものが多く掲載されている。

教科 美術

種目 美術

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 美術	種目 美術		
発行者番号・略称		教科用図書番号	
9・開隆堂		1年	2・3年
		701	801

(1) 内容の特徴および表現

- ① 題材ごとに「学習の目標」が3つの観点で示されており、具体的な学習の重点を「学習のポイント」として具体的な学習の重点が示されている。また、専門的な用語が「美術の用語」として解説されている。巻末には、各題材のページから検索できるように造形要素や表現技法、材料・用具などが「学びの資料」としてまとめられている。
- ② 表現中心の題材では、発想や構想の方法や学習の進め方のヒントとなる内容が双葉のマークで示されている。共同制作や話し合い活動によって発想や構想を広げる場面が設定され、生徒同士が交流している写真とともに紹介されている。生徒のアイデアスケッチや制作過程の掲載などもあるとよい。
- ③ 学びの意義や価値の説明として、様々な職業に就いている方の言葉や、身近な生活の中で見つけられる美術などが紹介されているなど、多くの情報が掲載されている。また、技法動画や作家についての解説、教科書掲載以外の作品などを視聴することができるように、それぞれの題材ごとにQRコードが掲載されている。
- ④ 身近な風景や素材に関する題材が取り上げられ、作者の言葉が紹介されている。教科名を挙げて他教科との関連をページ下に示している。特に道徳に関しては、自分自身の内面や、集団や社会との関わりについて多く取り上げられている。
- ⑤ 琳派や浮世絵の作品が、その後の日本や世界に影響を与えた作品として大きく取り上げられている。デザインや工芸の分野においても、日本の伝統的な技法等が紹介されている。また、世界と向き合う美術という視点から、海外の作品が見開きで掲載されている。

(2) 構成・配列および分量、使用上の便宜等

- ・「美術1」では3年間の学習を地図にたとえ、学習の系統性が図解で示されていて、学びを確認しやすくなっている。
- ・視覚的に読み取ることができるよう教科書の情報にマークが付されている。
- ・ページ下に題材同士の関連が示されている。
- ・全体的に活字がやや小さく、紙面の余白が大きく感じられるので、生徒にとって、読みづらさを感じる部分もある。

(3) 総合所見

題材ごとに学習の目標が3観点で示されており、具体的な学習の重点を「学習のポイント」として示している。発想や構想の方法などを双葉のマークで示している。話し合い活動等により発想や構想を広げる場面の設定がされている。QRコードで技法動画、作家の解説などを視聴できる。道徳をはじめ、他教科との関連についても取り上げられている。日本の伝統技法の紹介や海外の作品も掲載されている。視覚的に読み取れるマーク、ページ下に題材同士の関連が示されている。全体的に活字がやや小さく、紙面の余白が大きく感じられるので、生徒にとって、読みづらさを感じる部分もあるため、使用の際配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 美術	種目 美術			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
38・光村		1年	2年	3年
		702	802	

(1) 内容の特徴および表現

- ① 各ページの題材の目標が表現と鑑賞の2点にまとめられ、題材も表現と鑑賞に分けて提示している。表現と鑑賞のどちらの題材も、鑑賞の問いかけから始まり、表現と鑑賞の関連を意識して一体的に学べるように作品が掲載されている。巻末の「学習を支える資料」では、技法や材料、色彩などの基礎的内容と美術作品やデザイン、工芸作品の画像、美術史の流れなどが紹介されている。
- ② 生徒作品には、発想や構想、表現の工夫などの説明に加え、「作者の言葉」も紹介されているものもある。また、「表現みんなの工夫」では、発想や構想、制作の工夫がわかると同時に、表現の違いもわかるように、2人の生徒の制作過程が紹介されている。「美術2・3」の巻末の「学習を支える資料」には、アイデアをより練られるように、発想の仕方や話し合いの仕方が紹介されている。
- ③ 鑑賞のページでは、作家についての説明や美術史についての説明と関連する図版が掲載されている。デザインや工芸の題材のページでは、生活や社会の中の美術の働きが意識できるよう、実際に活用している写真も掲載されている。表現の題材のページでは、生徒の発想や構想の一助になるように、生徒のアイデアスケッチが掲載されている。また、QRコードがあり、作品解説や画像の確認ができる。
- ④ ページの下側の「道徳科のつながり」では、道徳の内容との関連が示されている。また、他教科との関連も意識できるように「国語科とのつながり」や「社会科とのつながり」も掲載されている。デザインや工芸の題材のページでは、人とのつながりや生活や社会と美術のつながりに焦点をあて、生活や社会の中での美術の役割が意識できるよう作品が紹介されている。
- ⑤ 日本や西洋の有名美術作品はもちろん、地域で行われている美術のイベントやパブリックアート、生活や社会で活用されているデザインや工芸の作品も紹介され、地域社会の中での美術の働きや美術文化理解を意識できるように作品が掲載されている。また、「美術2・3」の巻末には、直島の作品が紹介されている。

(2) 構成・配列および分量、使用上の便宜等

- ・「美術1」と「美術2・3」の2冊で構成され、「絵や彫刻」と「デザインや工芸」と巻末の「学習を支える資料」の項目でまとめられている。
- ・鑑賞のページでは、作品を細部まで見るために、見開きや原寸大で作品を大きく紹介している。また、表現のページでは、表現と鑑賞の関連が意識され、授業の流れに応じて、生徒作品や美術作品、デザインや工芸の作品などが紹介されている。

(3) 総 合 所 見

生徒が発想や構想、表現の工夫をしたり、表現と鑑賞を関連させたりできるよう鑑賞の問いかけやアイデアスケッチ、制作の流れが意識的に提示してある。鑑賞作品も日本や西洋の有名美術作品だけでなく、生活や社会で活用されているデザインや工芸作品なども紹介されている。これらの作品や生徒作品にもコメントが紹介されており、主題を考えたり、個人で発展的に学ぶこともできる内容になっている。生徒が話し合う姿や制作する姿も紹介されている。また、QRコードから作品をいろいろな方向から見たり、作品解説の音声ガイドをきいたりすることができる。題材の目標が表現と鑑賞の2つにまとめられているので、各題材に応じて目標に具体性がもう少しあるとよい。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 美術	種目 美術			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
116・日文		1年	2年	3年
		703	803	804

(1) 内容の特徴および表現

- ① 題材ごとに「学びの目標」が示され、観点別に明示されている。また、「造形的な視点」の吹き出しがあり、色彩や形、イメージなどの〔共通事項〕から、作品を見たり作成したりする視点に気づくよう工夫されている。巻末の「学びを支える資料」では、技法や材料、美術作品や工芸品など様々な資料を掲載している。
- ② 題材名の上に表現や鑑賞の双方で主題に繋がる言葉が紹介されている。掲載作品には、作者の主題や表現の工夫を読み取ることができるよう「作者の言葉」が紹介されている。「美術1」では、発想や構想の手立てとして、デザイナーの発想や構想する過程がスケッチや写真で紹介されている。また、有名美術作品や美術史的な内容だけでなく、生徒が制作する過程や話し合う場面の写真も掲載されている。
- ③ 美術作家だけでなく、現在活躍する俳優や著名人などから、美術に対するメッセージが掲載されている。また、「美術1」の巻頭には、美術への興味をもてるようアニメーションの背景面を掲載している。巻頭や鑑賞のページには、様々な鑑賞資料が掲載されるだけでなく、見開きや原寸大の画像から、細かく確認できる図版が紹介されている。QRコードから視聴できる補助資料が掲載されている。
- ④ 道徳の学習と関連している内容については、ページ下の双葉のマークで紹介されている。デザインや工芸などのページには、生活や社会の中で活用されている作品や写真が掲載されたり、「2・3下」の鉄道に関する特集では、デザイナーの言葉で、デザインの意義や意図が掲載されたりするなど、美術と生活や社会との関連が紹介されている。
- ⑤ 岡山県出身のデザイナーや直島の作品が紹介され、生活や社会をよりよくする美術の働きを表すデザイン等も紹介されている。日本や世界の有名美術作品や伝統工芸、デザインなど、作品だけでなく、作家や制作の技法等、美術文化の理解に繋がる画像が掲載されている。美術に関わる作家だけでなく、著名人などのコメントから美術が社会に繋がっていることを理解できるような紹介がされている。

(2) 構成・配列および分量、使用上の便宜等

- ・ 発達段階に応じて「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の三冊で構成され、どの題材でも発想や構想と鑑賞の関連ができるように紹介されている。
- ・ 目次のページには、教科書の使い方やページの構成が掲載されている。
- ・ 鑑賞のページには、細部まで見えるような原寸大の画像や見開きの大きな画像を掲載している。
- ・ 全ての巻末の「学びを支える資料」では、技法や美術文化などを紹介している。

(3) 総 合 所 見

「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊に分けられ、発達段階に応じた題材や指導内容を意識できる内容である。巻末の「学びを支える資料」は、発想や構想の仕方や技法、作品の紹介などの説明が掲載されている。現在活躍する芸能人など著名人の方からの美術に関するコメントもあり、美術を学ぶ意義につながる。QRコードで動画で話を聞くことも可能であり、作品や技法を画像等で確認できる。美術作品だけでなく、デザインや工芸の作品も豊富に紹介され、生活や社会の中の美術の働きを意識できる内容になっており、伝統文化や美術文化の理解や今後の生活で美術を楽しむ活用することにつながる。作品画像が大きく迫力があり、生徒が考えたり対話したりする写真も豊富に掲載されている。

教科 保健体育

種目 保健体育

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 保健体育	種目 保健体育			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「見つける」では、身近な話題や新聞記事などから導入に入り、学習課題につなぎ、得た知識を活用し、生活の中に広げるという流れにより構成されている。資料を見るタイミングも文中に示されている。章の終わりには、キーワードを復唱できるよう「学習のまとめ」がある。
- ② 「活用する」では学習した内容を生かし、自分の考えをまとめたり、説明したりするコーナーが設けられている。自分の生活や社会の健康・生活・環境などに目を向け、実践的な力につながるよう「広げる」が設けられている。インターネットを活用した学習ができる「D」マークが設けられている。
- ③ 章末資料ではコミュニケーションの方法やインターネットによるトラブルなど、生活の中に取り入れて生かせるものが紹介されている。自分の生活に照らし合わせたり、生活で生かしたりする内容が取り上げられている。発展的な学習ができる「発展」マークが設けられている。
- ④ 1時間の主な流れが「見つける」、「課題の解決」、「広げる」で示され、学習の進め方が明記されている。2種類の「関連マーク」が設けられ、関連する学習内容のページや他教科との関連が示されている。各章の「学習のまとめ」には「日常生活に生かそう」という項目が設けられている。
- ⑤ 巻頭では「オリンピック・パラリンピックのメッセージ」、「国や民族を超えて」などが取り上げられている。体育編3章では、文化としてのスポーツの意義について、スポーツが国際親善や世界平和に果たす役割が、読み物資料や写真を提示しながら取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各学年に保健編と体育編が配列され、体育編は全9項目、保健編は全44項目で構成されている。
- ・章末資料がそれぞれの章の終わりに計30ページ紹介されている。本文を補足する凡例や資料が身近なイラストや写真とともに提示されている。キーワードが太字で示されている。

(3) 総合所見

身近な話題や新聞記事などから導入に入り、学習課題につなぎ、得た知識を活用し、生活の中に広げるという流れにより構成されている。1時間の主な流れが「見つける」、「課題の解決」、「広げる」で示され、学習の進め方が明記されおり、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。文字や写真、図の大きさや鮮明さ、バランスが良く、読みやすく、見やすいページに工夫されている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 保健体育	種目 保健体育			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
4・大日本		1年	2年	3年
		702		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 左ページに本文、右ページに資料が分けて示されている。本文を読んでから資料を見て理解を深めるという流れにより構成されている。学習した知識を再確認できるようキーワードが最後に示されている。心肺蘇生法の資料は見開きで写真が多く示されている。
- ② 「話し合ってみよう」では、資料を参考に自分の考えをまとめ、意見交換ができるよう設定されている。各章の終わりには「学びを生かそう」のコーナーが示されており、与えられたテーマから学習したことを生かし意見を記述し、まとめる欄が設けられている。
- ③ 「やってみよう」では、資料を基に自分の健康や生活を振り返り、章単元の最後の「活用して深めよう」につながる流れで構成されている。章末の「学びを生かそう」では、学習したことを普段の生活に生かせるように具体的な内容が取り上げられている。
- ④ 関連した内容を学習するページや他教科とのつながりを示す「リンク」マークが設けられている。また、家や地域で取り組みたい活動など、学習した内容を実生活の場面で活用する情報を示す「家」、「地域」マークや「学びを生かそう」の欄が設けられている。
- ⑤ 巻頭や体育編3章の「文化としてのスポーツの意義」では、視覚資料を使いスポーツの平和的な役割について取り上げている。また、「オリンピック・パラリンピックの歴史」や「世界で活躍する人々を支える健康」として日本人選手の話が取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・体育編が前半、保健編が後半になるよう配列され、体育編は全9項目、保健編は全40項目で構成されている。
- ・巻頭に国際的なスポーツ大会が「スポーツは世界の言葉」として紹介されている。本文は明朝体で、見出し、キーワードが太字のゴシック体で示されている。全体的に文字の大きさが小さめで、指導の際、読みやすさ、見やすさにおいては配慮が必要である。

(3) 総合所見

「学習のまとめ」では、重要なことばがキーワードとしてまとめられている。各章の終わりには「学びを生かそう」のコーナーがあり、学習したことを生かして自分の意見をまとめ、表現する工夫がされている。全体的な構成が統一されており、見開き左ページに解説、右ページに資料とまとめられ、生徒にとってわかりやすいレイアウトになっている。文字や資料の量が多く、全体的に文字の大きさが小さめで、指導の際、読みやすさ、見やすさにおいては配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 保健体育	種目 保健体育			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
50・大修館		1年	2年	3年
		703		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 導入の「課題をつかむ」は既習事項を活用して○×を付けたり、「理由を2つ考えてみよう」など具体的に示されている。「学習のまとめ」や「章のまとめ」が問題形式になっており、学習して得た知識を最後に再確認できるよう構成されている。
- ② 「学習のまとめ」には生活に照らし合わせて話し合う内容があり、自分の考えをまとめて表現する場面が設けられている。「章のまとめ」では「思考・判断・表現」、「学びに向かって」という問題が取り上げられ、章全体で学んだ知識を活用して、自分の考えを記述する欄が設けられている。
- ③ Q&A健康相談コーナーやリラクゼーションの方法などが紹介されている。読みものに加え、自分の健康や生活を振り返ることができるよう章末の資料が設定されており、記入して生活を振り返ったり、ロールプレイングで練習したりする内容が紹介されている。
- ④ 小単元のまとめとして、学習内容を確認したり、日常生活に生かしたりする「学習のまとめ」が設けられている。「コラム」、「事例」では本文に関連した読み物の資料「保健の窓」、「体育の窓」では、自分ならどうするかを考えてみる内容が紹介されている。
- ⑤ 巻頭では、「平和の祭典」としてオリンピック・パラリンピックが写真とともに取り上げられ、「共に生きる」では、共に挑戦し、支え合おうとしている人たちが紹介されている。体育編には、国際的なスポーツ大会の意義と役割では、「世界平和と国際親善」が資料と写真で紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・体育編が前半、保健編が後半になるように配列され、体育編は全9項目、保健編は全48項目で構成されている。
- ・「実習」の内容も1つの項目として取り上げられている。キーワードが太字で示されており、資料を点線で囲み、背景が薄黄色で示されている。

(3) 総合所見

「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」の流れで構成されているが、1ページあたりの情報量が多く、学習の流れがつかみづらく、表記と配置に工夫が必要である。「章のまとめ」では「思考・判断・表現」、「学びに向かって」という問題が取り上げられ、章全体で学んだ知識を活用して、自分の考えを記述する工夫がされている。グループで話し合ったり、協同したりしながらの学習に関する、行い方等の説明が少なく、活用の際配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 保健体育	種目 保健体育			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
224・学研みらい		1年	2年	3年
		704		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「学習の目標」から「課題をつかむ」の導入に入り、「まとめる・深める」で学習のまとめができる流れにより構成されている。「課題をつかむ」では、図や表から考えさせるようになっており、問いが示されている。「章のまとめ」では、振り返りや確かめがチェックや穴埋めで示されている。
- ② 「まとめる・深める」では、「考える」「説明する」「話し合う」など、「まとめ方・深め方」の方法が示されている。「章のまとめ」にも「生かそう」「生活への活用」のコーナーが示されており、学んだ知識を生活にどのように活用するのかについて記述する欄が設けられている。
- ③ 章末資料には「探求しようよ！」というコーナーが設けられ、学んだ内容が生活の中でどのように生かされるか紹介されている。体育編の2章では、体力の必要性を災害の場面から考えるコーナーが設定され、避難生活中の体力の高め方などが紹介されている。
- ④ 教え合い学び合う課題に「協働」、関連する学習内容へのガイドは「関連」、参考になるウェブサイトは「リンク」のマークが付けられている。また、「自然災害から身を守るために」では、実生活につながる自然災害発生時の避難行動の仕方が紹介されている。
- ⑤ 巻頭では、「スポーツで世界を一つに」として、スポーツ大会や盛岡さんさ踊りなどが「World In Union」の歌詞と併せて紹介されている。「健康な生活と疾病の予防③」の章では「ノーベル生理学・医学賞受賞」の大村智氏が取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・体育編が前半、保健編が後半になるよう配列され、体育編が全9項目、保健編は全36項目で構成されている。
- ・巻頭に保健体育に関する施設の紹介などが10ページ設けられている。各章にページ数が色分けされている。見出しやキーワードは太字で表記されている。

(3) 総合所見

「学習の目標」から「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の順に構成されており、課題解決的な授業の流れがわかりやすく表示されている。「説明する」「話し合う」など、学びの方法が明示され、課題に「協働」マークが付けられるなど、主体的・対話的な学びを実現するための工夫がなされている。「自然災害から身を守るために」では、実生活に役立つ内容が充実しており、体育編にも関連した内容が加えられており、防災教育にも大変効果的である。

教科 技術家庭

種目 技術分野

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 技術・家庭	種目 技術分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各節の「目標」「キーワード」「まとめ」の項目により、育成すべき資質・能力が明確にされている。「TECLab」の項目で基本的技能を作業ごとに見やすく集約し、習得しやすいよう工夫が施されている。豊富な写真や図版、QRコードを利用した音声入りのネット動画などにより、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みをわかりやすく紹介されている。
- ② 「問題解決カード」や5段階で構成した技術の問題解決プロセスとページ上の表示により、学習に主体的に取り組みやすくしている。主体的・対話的で深い学びにつながる学習場面として「活動」の項目が設定されている。考えや意見を整理する手段としてフィッシュボーンや5W1Hなどの思考手法が紹介されている。第4編で76ページにわたって、「情報の技術」が設定されている。
- ③ 各項目に「考えてみよう」「調べてみよう」などの学習の始めにできる簡単な活動例が設けられている。多彩な題材例を問題解決の手順とともに1ページに見やすくまとめて紹介されており、自主的な学習に発展させることができる。各編の最後や章巻末の「統合的な問題解決をしよう」により社会の発展とこれからの技術について視野を広げる工夫がされている。
- ④ 「リンク」の記号により関連ページを参考にしやすい。関連する他教科や小学校の教科書をネットで見ることができる。脚注に身近な技術や製品などの工夫について掲載し、技術に対し興味をもたせる工夫がされている。技術による問題解決について結果や過程の振り返りを繰り返すことで、新たな問題の発見など生徒の視野を広げる工夫がされている。
- ⑤ 技術による問題解決の工夫や職人の思いなどが生徒向けのメッセージ（ネットで映像として視聴可能）やこれからの社会について考える「資料」の項目などにより、持続可能な社会形成に果たす技術の役割が意識できる。キャリア教育の視点が充実しており、玉野市の生徒にとって非常に有効である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ ユニバーサルデザイン書体を使用し、可読性が高められている。また、カラーバリアフリーの観点から配色とデザインについても検討がなされており、非常に見やすい構成になっている。
- ・ 学習指導要領の内容を踏まえ学習を系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んだ丁寧な記述になっている。
- ・ 「問題の発見→課題の設定→設計・計画→製作・制作・育成→評価、改善・修正」のPDCAサイクルを各編で繰り返し、よりよいものづくりや問題解決の手法が身につく構成である。

(3) 総合所見

技術の「見方・考え方」を働かせた深い学びを実現できる教科書に仕上がっている。ガイダンスで「見方・考え方」についてきちんと説明があり、制約条件下の元、技術の最適化を考える構成が各編で組まれている。特に「問題の発見」の場面が大事にされており、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる。また、結果とともに過程を振り返る場面が繰り返し設定されていることで、新たな問題の発見など生徒の視野を広げることにもできる。見開きの2ページで内容を完結させ、中の文章や写真・図版の配置も整然としているので、使いやすい構成である。色合いやフォントの工夫により文章も読みやすく、非常に使いやすい。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 技術・家庭	種目 技術分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
6・教図		1年	2年	3年
		702 703		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各項目の冒頭に「めあて」「キーワード」の項目により、育成すべき資質・能力が明確にされている。各編1章に紹介された簡単な題材例により基本的な技能の習得ができるよう工夫されている。写真を用いて基本的な技能について説明した掲載別冊のハンドブックにより、実習中に作業の確認がしやすくなるよう工夫している。
- ② 問題の発見からまとめまでを4つのステップで取り組む流れで構成されている。学習した設計・計画の流れを基に自分で構想を立て実現できるよう、各編にワークシートを設けている。「やってみよう」という項目で、グループによる学びや問いかけができるよう工夫されている。第D編で84ページにわたって、「情報の技術」が設定されている。
- ③ 技術による問題解決の手順により多彩な題材例が紹介されている。製作の細かい手順やアレンジ例が多数掲載されており、学んだことを自主的な学習に発展させやすくしている。しかしながら、制約条件下における技術の最適化について考える記載は少ない。これまでの学習を総括した編「夢をかなえる技術」に横断した製作品例を示し、工夫・創造する態度を育てる工夫がされている。
- ④ 本誌を活用しやすいようQRコードにより、内容を関連づけている。各編の最後の章に社会の発展とこれからの技術について視野を広げる工夫が施されている。教科書で学習した技術を社会でどう活かすことができるか、特集として紹介されている。「先輩からのメッセージ」の項目により、各編の学びを将来の進路の選択に結びつけることができる。
- ⑤ 編の冒頭に「各技術の発展例」が写真とともに紹介されている。伝統技術や日本の文化について考えられるコラムが多数設けられている。また、各地域の職業人にインタビューや全国の博物館の情報も掲載し、地域を愛し社会に貢献する生徒の育成に活かすことができる内容になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 基礎・基本が定着しやすいよう文字を大きくすると共に、文を3文で構成し読みやすくなるような工夫がある。また、今までの技能資料を別冊ハンドブックにし、本紙の製作題材の確認や実習中の確認できるようにしているが、本冊との棲み分けに配慮が必要である。
- ・ 「見つける」→「学ぶ」→「振り返る」という学習の流れを明確にされており、同じ流れで学習できる構成になっている。本文が読み進めやすくなるとともに、技術の見方・考え方を養うことができる。
- ・ 各編を「社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展」の順で配列し、技術の3要素を学習しやすいようにしてある。特に「問題解決」部分に力を入れる構成になっている。

(3) 総合所見

フォントが大きく、文の構成も工夫して、見やすい教科書である。また、別冊を作り、作業中に学習したことを確認しやすくなっている。しかし、教科書の本体が他社より厚く、さらに別冊も加わるため本の太さが気になる。練習題材を通して作業の基礎・基本を学ぶ構成や技術による問題解決の過程を本題材の製作を通して学ぶ構成により、知識・技能の定着だけでなく技術の「見方・考え方」を深めやすくしている。編末の学びを深める章は将来のために技術をどう活かすことができるかじっくり考える構成になっているが、制約条件下で技術をどう最適化させていくかを考えていくかという弱い。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 技術・家庭	種目 技術分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
9・開隆堂		1年	2年	3年
		704		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各項の「学習の目標」により、育成すべき資質・能力が明確にされている。作業内容について作業者目線の拡大写真や作業方法の写真などを使用して詳しく説明している。豊富な写真や図版、QRコードを利用したネット動画などで、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みを分かりやすく紹介している。
- ② 問題の発見から評価・改善までの問題解決の流れがPDCAサイクルで紹介されている。「実験」「課題」の項目による活動を通して、他者と関わりながら技術の理解を深めることができる。「話合ってみよう」の項目では、問題解決の過程での工夫や、安全性や経済性など様々な視点から考えることができる。第D編で72ページにわたって、「情報の技術」が設定されている。
- ③ 各単元の冒頭の「調べてみよう」「考えてみよう」の項目に対し、生活や社会の中の身近な技術や写真を見ながら課題解決できる構成になっている。また、「ふり返り」で学習内容を確認ができる。問題解決の手順とともに題材例を見開きで紹介し、自主的な学習として発展できるようにしている。「参考」の欄に補足的な学習や発展的な学習が示されている。
- ④ 「リンク」の記号により、関連するページを参考にしやすくしている。各編の最後に、社会の発展とこれからの技術について考え視野を広げる工夫が施されている。脚注に「豆知識」の項目で身近な技術や製品などの工夫を掲載し、技術に対し興味が持てる工夫がされている。発展的内容として「学びを深めよう」の項目を設け、技術を工夫し創造する意欲を育てる工夫がされている。
- ⑤ 技術と環境との関わりや先人の知恵と技能が日本の文化を支え発展させてきたことの記載により、技術による問題解決学習を通して循環型で持続可能な社会を意識する生徒の育成を図ることができる。各編の最初の「技術の歴史」や巻末の「日本各地の伝統的な技・材料・工芸 Map」により歴史や伝統を意識することができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ UDフォント、UDカラー、単語が離れない工夫などにより、見やすい紙面作りがされているが、1ページあたりの情報量が多く教材提示装置を使うなど配慮が必要である。また、生徒がイメージしやすいよう簡単にしたイラストを使用しているが、写真を見せるなど配慮が必要である。
- ・ 技術の「見方・考え方」を捉える活動を繰り返し行う構成により、生活や社会の中で活かすことができるよう工夫されている。
- ・ 「基礎的な知識・技能」→「問題解決」→「ふり返り」という基本的な学習の流れを教科書内で共通して行うことで、技術による問題解決力を高めようとしている。

(3) 総合所見

技術の視点で物事を考えられるよう生活や社会の中にある技術と「見方・考え方」に気づき、「見方・考え方」をはたらかせて問題を解決していく構成になっている。各章各編の最後に振り返りやまとめをすることで、「見方・考え方」の定着にも力を入れている。また、実習例に合わせて技術による問題解決の過程を多数掲載しており、思考の幅を広げる工夫がある。見開きで紹介することで情報量は十分だが、やや詰め込みすぎになっており使用の際に配慮が必要である。豊富な写真や図版、QRコードを利用したネット動画で作業やしくみなどをわかりやすく説明する工夫がされているが、色合い、ページ構成、イラストなどに古さを感じる。

教科 技術家庭

種目 家庭分野

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

技術・家庭	家庭分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各節の冒頭に「目標」、終わりに「まとめ」が示されており、1単位時間での学習を意識した作りになっている。基礎技能のページ「調理」「衣服の手入れ」「ミシンの使い方」では、作業過程を細かく写真で示しており、丁寧でわかりやすく充実している。「新しい取り扱い絵表示」の例の掲載や左利きへの配慮など、指導しやすい配慮がなされている。
- ② 「問題を解決する筋道」の6つのステップで、巻頭のガイダンスから、計画、実践、巻末の新たな課題の発見までを具体的かつ明確に示すことで、学習の流れをつかみやすくなっている。特に、学習の始めにできる簡単な活動の例がたくさんあり、言語活動の充実が図りやすい。
- ③ QRコードを読み取ると動画や関連のホームページにリンクしており、家庭でも自主的な学習に取り組みやすくなっている。また、学習でよく使われる家庭生活に関する独特な言い回しや名称が「言葉のページ」にまとめられ、知識を活用しやすくなっている。調理実習では、調理例の写真が大きく載っており、自主的に学習しようとする意欲につなげたり、衛生と安全のページの資料が見やすく掲載されたりしており、実践につながりやすいものになっている。
- ④ 他教科や小学校の学習内容との関連をわかりやすくするための「小学校」マークや「他教科」マークがついており、指導に生かすことができる。また、思考を促すシンキングツールが掲載され、探求的な学びの方法が示されている。
- ⑤ 高齢者との関わりで、介助の仕方が動画で確認できる上、体の特徴などの内容が充実していたり、将来や社会とのつながりを感じられるプロのメッセージがあり、キャリア教育につながる内容になっていたりするなど、本市の生徒にとって、教育内容の充実が図れるものになっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・1ページの情報量や、色使い等は適切だが、一度出てきた語句にもルビがあり、配慮しすぎと感ずるところがある。
- ・冒頭にガイダンスの内容が示されている。学習指導要領の内容B「食生活」「衣生活」「住生活」が1～3編、内容C「消費生活と環境」が4編、内容A「成長と家族・地域」が5編の順になっており、「自立から共生」を意識した配列となっている。「生活の課題と実践」は巻末にまとめて例示されている。
- ・巻末に「防災・減災手帳」や「子どもの視界体験眼鏡」があり、災害への備えの学習に役立ち、教科書と切り離して、普段の生活で活用できるようになっている。

(3) 総合所見

教科書全体を通して様々な工夫がされており、「自立と共生」を目指すことのできる教科書となっている。掲載されている写真や図の大きさも実際のもと同じ大きさにするなどの工夫があり、実感を伴った学習を行うことができるように工夫がされている。日本の文化や、今日的な課題についてもちょうどよいタイミングで掲載されている。しかしながら、実習のページの文章での情報量が多く、使用の際、配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

技術・家庭	家庭分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
6・教図		1年	2年	3年
		702		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各節の冒頭に「みつめる」のコーナーがあり、身の回りの生活をきっかけとして、学習をとらえられるようになっている。また、「学ぶ」「振り返る」と学びの流れが明確で、自己評価につなげやすくなっている。調理実習例には、食物アレルギー対応についての配慮されていたり、「蒸す」調理では、蒸し器とフライパンを使った料理例があったりするなど、学校の実態に合わせて取り組めるようになっている。
- ② 主体的・対話的な学びを実現するために、「やってみよう」のコーナーで言語活動の充実が図られるようにしている。実習・制作等については、細かい作業が写真でわかりやすく示され、生徒が理解しやすくなっている。また、実習中に地震が起きた時の身の守り方や災害時の調理法、衣服の備えや洗濯など、防災教育への配慮がされている。
- ③ QRコードが掲載されており、読み取ると調理の仕方の動画を見ることができ、個々に応じた指導に有効であるだけでなく、生徒主体の学習や家庭学習にも大変役立つようになっている。
- ④ 「課題発見」、「課題設定」、「計画・実践」、「評価」「改善」と学習の流れが明確に示されており、探求的な学びを実現するための手立てが明確に示されている。また、他教科との関連が分かりやすく示されている。
- ⑤ 高齢者との関わり方について実践的・体験的な学習ができる内容が取り扱われている。また、「センパイに聞こう」のページは、生徒に近い立場の方からのメッセージが掲載されるなど、キャリア教育に役立つ内容であり、本市の取組に適した内容となっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ページの端に章の見出しが書かれており、めくりやすくなっている。また、文字のフォントが見やすく、重要語句が青色で目を引きやすい。教科書に使用している色が鮮明でわかりやすいなど、視覚的に非常に扱いやすい。
- ・A「家族・家庭生活」、B「衣食住」、C「消費生活・環境」の順に各章が構成されており、各内容の分量は適切である。「生活の課題と実践」は巻末にまとめて例示されている。また、各内容は、「みつめる」→「学ぶ」→「振り返る」の流れで構成されている。
- ・使用されているイラストやキャラクターは、生徒の興味・関心を引き出しやすい。

(3) 総合所見

教科書全体を通して、学習を進めやすい様々な工夫がされており、指導する側と学習する側、双方にとって使いやすい。特に、課題を解決するための手順を写真等で明確に示すなど、授業だけでなく、生徒主体での活用がしやすいものになっている。また、日本の伝統文化への理解、SDGsに関して持続可能な社会を実現するための内容、本市で重点的に取り組んでいるキャリア教育などの内容が充実している。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

技術・家庭	家庭分野			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
9・開隆堂		1年	2年	3年
		703		

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 各節の冒頭に「目標」、終わりに「振り返り」が示されており、学習の流れがつかみやすく、自己評価につなげやすくなっている。調理実習の材料のうち、アレルギー物質を含む食材には色をつけたり、取り扱い絵表示を表にまとめたりするなど、基礎基本がわかりやすくまとめられている。
- ② 各章とも「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」の「主体的、対話的で深い学び」に向けて決まった順序で構成されているため、授業展開を柔軟に取り扱うことはできにくく、画一的な指導になりやすい。「料理方法 Q&A」には「なぜこうするのか」という科学的な根拠が書かれており、学習を深めることができる。
- ③ QRコードが掲載されており、読み取ると手順や制作方法の動画を見ることができ、指導に有効であるだけでなく、実習中や家庭で、生徒が自ら家庭学習をすすめていく際に活用しやすくなっている。また、実物大の食品の写真や、実物大の子どもの手形・足形の写真が掲載されており、実感をもちやすい内容になっている。
- ④ 1つの見開きの中に、本時の学習の目標や、学習活動、学習のまとめまでが一覧でき、見通しがもてるようになっている。「他教科」や「他分野」マークが掲載されており、学習内容との関連が分かりやすく、指導に生かすことができるようになっている。
- ⑤ 高齢者についての内容が詳しく、介助体験の方法をわかりやすくイラストを使って示してある。また、「先輩からのエール」は、キャリア教育に役立つ内容であり、本市の生徒にとって充実した内容になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 1ページの情報量が多く、指示の内容に注目させる場合に、指示の仕方に工夫が必要である。
- ・ 学習指導要領の内容 A「家族・家庭生活」、B「衣食住」、C「消費生活・環境」の順に各章が構成されており、各内容の分量は適切である。
- ・ 再生紙や植物性のインクを使用していて、環境に配慮したものではあるが、写真やイラストの色が鮮明さにやや欠ける。

(3) 総合所見

教科書全体をとおして、様々な工夫があり、生徒が実感をもちながら学習を進めていくことができる内容になっている。また、SDGsの目標と関連した課題や、LGBTや外国の人、障害をある人との共生など、今日的なテーマが充実している。しかしながら、構成上授業展開を柔軟に取り扱うことはできにくいことや、紙面全体の明るさにやや欠け、特に調理実習例の写真は、あまり鮮明ではないなど、使用には配慮が必要である。

教科 外国語

種目 英語

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701	801	901

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着のために、どの単元も以前の単元で扱った内容の復習から始まり、短い英文や対話の理解、長文の内容理解、会話、聞き取りと一連のまとまった流れでできており、見通しがもてる。また、巻末の Word List は小学校で学習した単語も掲載しており、指導の継続が図られている。
- ② 知識・技能を活用するために、Activity のページが各ユニットに設定されており、生徒が学習した内容を実際の場面を想定して、使ってみることができるよう工夫がされている。また、第2学年からは、表やグラフの内容を読み取り、その内容を表現する活動が取り入れられている。
- ③ 生徒の主体的に学ぶために設けられた学び方コーナーでは、多くの生徒が知りたい内容を捉え、適切なアドバイスを伝えている。教科書に生徒が書き込める箇所がいくつもあり、生徒が自分の理解度を確かめながら学習を進めることができる。また、QR コードが掲載され、実際の音声を確認することができるようになっている。
- ④ 扱っている内容が、国際理解や他者との関わりなど現代の子どもたちの興味をひくものや、防災、福祉など、現代社会に求められるものが多く、親しみやすい。また、社会科、家庭科など他教科との連携ができる場面が多い。
- ⑤ 俳句や落語、伝統工芸などの日本の文化や他国の文化や生活習慣、世界遺産等が取り上げられている。また、日本のおもてなしプランの紹介活動など、日本や地域の良さを発信する活動も取り入れられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・絵や図、色分け等が適切になされ、視覚支援を含めて誰にでもわかりやすいように作られている。また、各ユニットで、学習内容の順番が統一されている。
- ・「不定詞の3用法の後に It is 形容詞 for 人 to ～.を学習できる」のように、文構造の学習では関連した内容を発展させるように構成されている。
- ・英文の量や内容が多く、使用量を調整するなど、一人一人の生徒の実態に応じて、全て取り扱うには配慮が必要である。

(3) 総合所見

各ユニットで、4つの技能がバランスよく配置され、取り組ませやすい内容になっている。取り上げている内容も現代に即しており、生徒の興味をひきやすい。小学校から中学校第3学年までの既習内容を少しずつ扱いながら展開されており、定着を図りやすく、入門期には適している。しかしながら、取り扱う英文の量が多いので、時間の配分を考える必要がある。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
9・開隆堂		1年	2年	3年
		702	802	902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「Scenes」で新しい内容を学習したあとに「listen, Speak & Write」の2種類のリスニングの問題がある構成になっている。セクションごとの各活動のあとに、「Interact」で自己表現をするというスモールステップで段階を追った書く活動ができ、基礎基本の定着が図りやすく、力がつきやすい。
- ② 「Interact」では、身近な事についてのクイズなど、ゲーム感覚でやり取りし、自分の関心のある事柄について発表することができるよう、多くのテーマが設定されており、自分の興味のある事柄について発表できる。
- ③ 各単元にQRコードがついており、読み取ると英会話を聞くことができ、主体的に家庭学習に取り組みやすくなっている。また、英和辞典の仕組みや活用方法、音読練習のチェック欄など、各自で学習が進められるようになっている。
- ④ 各単元にある「Share」では、本文の内容を通じて自分自身の日常生活を振り返ることができる構成になっている。また、「Our Project」では、インタビューや我が町のPRなど、身近な題材を取り上げて、探求、自己表現できるようになっている。
- ⑤ 1セクション見開きの構成の中で4技能を総合的に学習できる。すべてのセクションが同様の構成になっているため、特別支援の観点からも生徒は見通しをもって学習に取り組むやすいと考える。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第1学年の教科書では小学校で既習の単語と、中学校で学習する単語・熟語とが区別して掲載されている。
- ・各単元末に表現活動ができるページがあり、生徒の書く力が養われる構成になっている。
- ・巻末には切り離して活用できる「アクションカード」が掲載されている。
- ・各4技能の到達目標が分かるようなCAN DO リストが掲載されている。
- ・ページによって、情報量に差があるため、授業で使用するには配慮が必要である。

(3) 総合所見

新しい言語材料が対話形式で提示されており、言語材料を使う具体的場面がつかみやすくなっている。また、イラストや写真が多くあり、アニメや絵本に関する内容も豊富なため、生徒が興味を持ちやすい内容である。日本の文化と世界の文化を比較が取り上げられており、国際理解を深めることができる。しかしながら、ページによって、情報量に差があるため、授業で使用するには配慮が必要である。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
15・三省堂		1年	2年	3年
		703	803	903

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、GETのページが設けられており、文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につける工夫がなされている。
- ② 知識技能を活用するために、USEのページが設定されており、既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある英文の概要や要点を捉える力を養うのに効果的である。また、生徒が、自ら思考し、判断し、表現するために、Use Speak や Use Write のページが設けられ、既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある内容を話したり書いたりする力を養うのに効果的である。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、GET Plus では、提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を身につけることが期待できる。また、Project では、領域統合型の活動を通して、それまでに培った知識と技能を活用して表現したり、伝え合ったりできるよう工夫がされている。QRコードが多く掲載され、生徒が自ら発音や活動を振り返ることができるようになっている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、日本の文化、他国の文化や環境問題等にも触れられていて、探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 職場体験等が題材にとりあげられており、玉野市の進めるキャリア教育との関連もあり、学びに大変効果的である。また、教科書に登場する人物は、性別や人種、身体的特徴などについても多様性に意を用いられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく書く単元に配分されている。
- ・カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色が避けられ、形、記号・番号、説明文などの補助的な手がかりが設けられている。また、ほとんどのページでブロック体フォントが使われており、特別支援を要する生徒にも見やすく、わかりやすい。
- ・巻末に自己表現活動に便利な単語や語句のページが設けられており、使いやすい。

(3) 総合所見

5領域のバランスに配慮し、統合的に学習できるよう工夫されている。構成がわかりやすく、レイアウトも適度なスペースが確保されており、見やすい。字体がブロック体フォントが多いのも扱いやすい。QRコードや、学習のコツが紹介されている For Self-Study や Lesson ごとに文法のまとめが掲載されており、家庭学習を支援する資料が充実している。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		704	804	904

(1) 内容の特徴及び表現

- ① Part①～③では、「本文」から新出文法を想像し、「Key Sentence」で新出文法が、「Notes」の文法説明とともに掲載されている。「Tool Kit」や、「Listen, Think & Try」で繰り返し練習する活動が設定されている。5領域のなかで、特に新しく示された「話すこと（やり取り）」の力を基礎から積み上げて身につけるために、カードを使った自己紹介活動や、赤色マスキングシートを使って取り組める Activities Plus コーナーを設けている。
- ② 「Think & Try」では、本文の場面設定のなかで、生徒自身が思考を働かせて、話したり書いたりする表現が身につくように工夫されている。第2学年からの「Tips」では、関心のある事柄について自分の考えを伝えたり、ディスカッションしたりするなどの5領域の活動が、それぞれの行い方とともに設定されている。
- ③ 各自で学習が進められるように、パートごとにQRコードがあり、音声の確認や関連サイトの閲覧がしやすくなっている。また、Lessonごとに文構造のまとめの「Grammar」と「振り返り」が掲載されている。学習方法のアドバイスを「How to Study」コーナーで取り上げたりして、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように配慮している。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、環境問題、職業観、福祉など、幅広い題材が取り上げられている。身の回りのことから学校・社会・世界へと広がるさまざまな話題を取り上げ、英語に対する興味・関心を深めながら英語を発信する力を身につけることが期待できる。
- ⑤ 日本と他国の文化について、名所や学校生活など幅広い題材が取り上げられている。また、日本の中学生の平和スピーチや日本の名所や文化を紹介する活動が掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻頭に「まなびリンク」のQRコードが掲載され、第1学年に「すごろくボード」、全学年に復習用赤色マスキングシートが綴じられ、巻末に全学年のCan-Do自己チェックリストや活動用カードが掲載されている。
- ・基本文のレイアウトや配色など、強調された部分がわかりやすく、使用しづらく感じられる。

(3) 総合所見

Lessonの各Partごとで、5領域が統合的に学習できるように工夫されている。題材は、日本から始まって広く世界に目を向けさせるように構成され、最後には、日本のことを英語で伝えたり説明できたりする力を養うよう工夫されている。英文の量が多く、「読む」活動については、内容を把握するための指導の工夫が必要である。一方、読む力以外については、記載が少なく、技能を伸ばすことが不十分になることも考えられる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
38・光村		1年	2年	3年
		705	805	905

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、課ごとに基本文が掲載され、単元前半では、基本文から新出文法を想像し、「Lesten, Speak, Write」と使い方を繰り返し練習する活動が位置づけられている。また、新出単語の中でも重要なものは太字で示されており、覚えるべき単語が明確になっている。しかし、「Write」の活動での参考例が少なく、内容を深めにくい。
- ② 帯教材「Let's Talk」では、自分や相手のことについて、即興的なやりとりができるように活動が設定されている。また、「Story Retelling」では、既習内容をイラストとキーワードをもとに、自分の言葉で伝えることができるような活動が設定されている。
- ③ 各自で学習が進められるようにパートごとにQRコードが掲載され、リスニング音声を確認できるようになっている。巻末には発展的読み物の「Let's Read」が掲載されている。また、「Active Grammar」には、復習ができるように、基本の文構造がまとめられている。
- ④ 環境問題やAIなど、現代社会に直結する題材が取り上げられ、本文の内容が日常生活に密接させるように、工夫がなされている。表現活動では、自己紹介や職業診断チャートなどが取り上げられている。
- ⑤ 日本や他国の文化が、登場人物の体験を通して身近な題材で紹介されている。第1学年のアルファベットの字体が大きく、母音と子音の区別についても色別に示し、視覚的に認識しやすくするなど、ユニバーサルデザインが取り入れられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各課の初めに「～することができる」という表現で「Goal」が示されており、生徒がその課で目指す姿が明確である。また、「学び方ガイド」では、生徒からのよくある質問にグラフを用いて分かりやすく説明されている。
- ・イラストのデザインにいろいろな種類のもが使用されており、見づらいつとを感じる生徒がいる可能性がある。
- ・帯教材があり、即興のやりとりの指導をするのに効果的である反面、一単位時間での計画を立てる際には、配慮が必要である。

(3) 総合所見

巻末にはCAN DO リストが掲載され、目標の到達度を振り返るための「自己評価」が設定されている。帯教材があり、即興のやりとりの指導をするのに効果的である反面、一単位時間での計画を立てる際には、配慮が必要である。学年によって他国の文化や最近のニュース等に関する内容がやや少なく、内容の選択には工夫が必要と思われる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
61・啓林館		1年	2年	3年
		706	806	906

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 基礎基本の定着に向けて、**Get Ready** で新出文法や新出語句を確認し、**Practice** でその使い方を練習し、**Use** で自己表現する活動が繰り返し設定されており、文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につける工夫がなされている。
- ② 知識技能を活用するために、**Read & Think** では、長めの英文で読解力をつけ、**Express Yourself** では、社会的な話題などに関して自分の意見を発表することができるようになるのに効果的である。第2、3学年では **Let's Talk** や **Let's Listen** で、日常生活の対話を練習し、応用的に表現することができるように活動が設定されている。生徒が、自ら思考し、判断し、表現するのに効果的である。
- ③ 生徒が主体的に学習に取り組むために、**Project** のページが設けられ、それまでに培った知識と技能を活用して、身近な話題について意見を述べたり、表現したり、伝え合ったりできるよう工夫がされている。
- ④ 他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、日本の文化、他国の文化や環境問題等にも触れられていて、探究的な学びが期待できる。
- ⑤ 福祉、働く意義、防災、平和学習等が題材にとりあげられている。構成がパターン化しているので特別な支援を要する生徒も学習しやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく各単元に配分されている。
- ・色覚特性や障がいのある生徒などにもわかりやすい配色やデザインを心がけており、メディア・ユニバーサル協会による認証を申請している。また、見開き構成で、教材の配列がパターン化されていて学習しやすい。しかしながら、基本文の箇所がやや目立ちにくく、使用に配慮が必要である。
- ・巻末に自己表現活動に便利な単語や語句のページが設けられており、使いやすい。
- ・第2学年からは字体が変わり、本文のフォントも小さく感じる。
- ・QRコードが設置されており、各パートに **Target** のまとめがあり、復習ができるように設定されている。

(3) 総合所見

全体の分量は、5領域を適切な分量で配置されており、文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につける工夫がなされ、段階を踏んで習得できることが期待できる。また、レイアウトや構成は扱いやすくなっている。しかしながら、本文のフォントが小さく、第2学年からは字体が変わるため、読みづらい生徒もいると予想される。

教科 特別の教科 道徳

種目 道徳

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
2・東書		1年	2年	3年
		701	801	901

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻頭に話し合いの手引きや、道徳の時間の学び方について具体例を交え、詳しく解説してある。また、教材冒頭にねらいとなる内容項目に関連したテーマが示されており、ねらいにそった授業が展開しやすくなっている。さらに、導入部で投げかけや漫画などを掲載し、興味を持って取り組めるよう工夫されている。
- ② 発問を、中心発問の「考えよう」と、自己を振り返る「自分を見つめよう」の二つにしぼり、十分な話し合いの時間が確保できるよう、工夫されている。
- ③ 「ACTION!」のコーナーでは、役割演技やグループワークなどを取り入れ、体験的な学習ができるよう、配慮されている。また、問題解決的な学習教材も取り入れられている。
- ④ 「PLUS」として、テーマに即したコラムページが設けられており、探究的な学びにつながる事が期待できる。
- ⑤ 「いじめ問題」や「生命尊重」といったテーマをユニット化し、様々な側面から連続して扱うことで、問題意識を継続させ、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。また、情報モラル、キャリア教育、国際理解、人権・平和、防災・安全など、現代的な課題も充実しており、自らの生き方について考える一助となっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・年間 35 時間分の題材として、28 題材と 5 つ付録題材が用意され、柔軟なカリキュラム作成ができる。また、郷土資料なども用意されている。
- ・「心情円」や「ホワイトボード用紙」などが巻末に用意されており、考え、議論するためのツールとして使いやすい。
- ・自分の考えを書き込む欄として、「つぶやき」のコーナーが設けられている。
- ・教科書のQRコードを読み取り、関連するデジタルコンテンツを利用することができ、家庭でも興味のあるものについて、発展的に調べることができる。

(3) 総合所見

新聞、漫画、写真など、多様な提示が工夫されており、興味を持って多面的・多角的に学べる内容となっている。「いじめ」「いのち」については連続して複数教材を扱っており、3年間の学びを通して理解を深め、実生活に生かすことが期待される。また、題材の最初に主題、題材末に問いがあることで、ねらいにせまる学習活動が展開しやすい。さらに心情円を使った話し合いや問題解決的な学習、体験的な学習など、対話的な学習を通して、主体的に、よりよい生き方を考えられるよう創意工夫がなされている。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
17・教出		1年	2年	3年
		702	802	902

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻頭に道徳の時間の学び方や、学んでいくテーマについてまとめられている。また、教材冒頭に問題意識を生むような「問いかけ」の文があり、テーマに沿って、見通しをもって主体的に考えていくことができるよう、工夫されている。
- ② 教材の最後に「学びの道しるべ」として、発問が3つ示されており、自分自身を振り返ったり、道徳的価値そのものについて考えたりしながら、人間としてのあり方について考え、深い学びにつながるようになっている。
- ③ 「やってみよう」で、実際にその場面を演じたり、よりよい行動について考えたりすることで、教材を通して考えたことが、さらに深まるようになっている。
- ④ 各地域に関わりの深い教材を配し、各都道府県に関係する人物とその言葉も掲載されており、郷土の偉人の生き方や考え方などにも興味をもてるようになっている。
- ⑤ 「いじめや差別のない社会」や「生命の尊さ」については、複数の教材やコラムでユニットを組み、問題意識を継続させ、多様な視点から考えを深めていける構成になっている。また生命倫理、情報モラル、社会参画・協働、安全・防災など、現代的な課題を取り扱った教材も充実しており、課題に向き合い、よりよいあり方を考えていけるよう工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・年間35時間分の題材として、本題材30本、補充題材5本で構成されており、学校や地域の実態や特性、重点目標などに合わせた柔軟なカリキュラム構成ができるようになっている。
- ・一つの教材の中に、異なる立場の意見を掲載することで、葛藤を生み、対話的な学びを効果的に取り入れられるよう工夫されている。
- ・「まなびリンク」から専用のウェブサイトアクセスして、教科書での学びをさらに深め、充実させることができるようになっており、家庭での発展的な学習も期待できる。
- ・巻末には、内容項目順に、道徳の学びを記録する欄が設けられている。

(3) 総合所見

3年間の学びの積み重ねを意識し、感動的な教材、興味関心をひく多様な形式の教材など、生徒の発達段階や実生活に即した教材を系統的、発展的に配置してあり、学びを積み重ねていくことができる内容となっている。導入の「問いかけ」や、「学びの道しるべ」として3つの「問い」が示されていることで、授業の展開はわかりやすいが、体験的な活動や、対話的な学習活動例が少なく、多様な学習活動の展開は難しくなることも考えられる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
38・光村		1年	2年	3年
		703	803	903

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 巻頭に道徳のガイダンスが配置され、学習意義や内容、方法が理解できるよう工夫されている。
- ② 教材が、「考える観点」「考えよう」「めあてに迫るための発問」「見方を変えて」「つなげよう」の5つの要素で構成されており、授業を構造化しやすい。また、それぞれの教材末に「てびき」が設けられており、1時間の学びの道筋がイメージしやすく、生徒が主体的に考え、議論するための工夫がなされている。
- ③ 「なんだろう なんだろう」では、テーマについて自分のこととして考えることができ、「深めたいむ」では、グループで話し合う活動例を示し、生徒が考えを多面的・多角的に深めていくことが期待できる。
- ④ 読み物教材の他にも、漫画形式の教材、絵本から転載された教材など、視覚的に生徒の興味・関心を喚起する教材も多い。
- ⑤ 「いじめ問題」「情報モラル」などの重点項目はユニット化され、継続して考えを深めることができるように配慮されている。また、アンガーマネジメントやソーシャルスキルなども扱われており、実生活に直接的につながる内容も掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・年間 35 時間分の題材として、31 題材と 4 付録題材が取り上げられている。
- ・ユニットテーマ別に教材が配列されており、発達段階を踏まえた内容が充実しているため、学校行事とも関連させながら授業を計画することができる。
- ・イラストを使い、概念を視覚的に表した教材が多く、イメージしやすい構成になっている。また、参考となる資料の掲載を示す QR コードが題材名の下に付されており、家庭で学習を深めることができる。
- ・対話的な学びや体験的な活動が充実している分、活動に時間をとられ、自己と向き合い、考えを深めていく時間の確保が難しいと考えられる。
- ・シーズンごとの振り返りが設定されているが、枠のみのページ設定のため、使い方に工夫が必要である。

(3) 総合所見

教材の出典が、著名人の著した文章など、生徒にとってなじみのあるものが多く、提示の工夫も随所に見られ、意欲的に教材に向き合うことができる。めあてが明確に示され、「つなげよう」や「見方を変えて」で自分の考えを多面的・多角的に考えることができる内容となっている。対話的な学びや体験的な活動が充実している分、活動に時間をとられ、自己と向き合い、考えを深めていく時間の確保が難しいと考えられる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
116・日文		1年	2年	3年
		704	804	904
		705	805	905

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 道徳のオリエンテーションとして、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」「学ぶテーマ」が示され、学習意義や内容、方法が理解できるよう工夫されている。
- ② すべての教材の冒頭に主題名が示されており、生徒が見通しをもって主体的に学習できるように配慮されている。
- ③ 全学年6教材ずつ「学習の進め方」が設定されており、問題解決的な学習や体験的な学習の手法を用いた学習ができるように工夫されている。また、教材の末尾に「考えてみよう」「自分に+1」を示し、議論したい内容や、これからの自分にどう生かすかなど考えたい内容が明示されており、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫されている。
- ④ 「プラットフォーム」では、学習内容を他教科や活動とつなげ、考えや視野を広げるコラムが掲載されており、教科横断的な視点で資質・能力を育むことが期待できる。
- ⑤ 『「いじめ」と向き合う」「よりよい社会と私たち」など現代的な課題について、複数の教材とコラムをユニット形式で配置しており、集中的かつ継続的に考えられるように配慮されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・年間 35 時間分の題材として、35 題材が取り上げられており、重点項目には複数の教材が掲載されている。
- ・道徳ノートには、自分の考えを書く欄や友達の意見や話し合いをメモする欄があり、広い視野から自己を見つめられるように工夫されているが、書くことが苦手な生徒の中には、負担に感じる生徒もいると思われる。
- ・専用サイトに参考となる資料の掲載を示すPCマークが題材の下に付され、QRコードを読み取ることで、家庭での発展的学習も期待できる。
- ・イラストや写真をたくさん載せ、文字の大きさや書体、ルビ、色使い等のレイアウトの工夫が見られる。また、生徒にとってわかりにくい用語については欄外に簡潔な解説が設けられている。

(3) 総合所見

題材末の問いにより、主体的に教材に向かい、これからの自分の生き方について考えられるよう、工夫されている。また、「学習の進め方」に示された役割演技や疑似体験、問題についての議論などを通して、考えを深める活動が展開しやすい。「プラットフォーム」により、他教科との関連も考えられる。道徳ノートがあることで、授業スタイルに合わせて柔軟に活用でき、継続的に取り組みやすい反面、書くことが苦手な生徒の中には、負担に感じる生徒もいると思われる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
224・学研		1年	2年	3年
		706	806	906

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 「さまざまなテーマで学ぼう」やユニット学習などで、内容項目の異なる複数の教材を関連させ、連続で学ぶことで、多面的・多角的に広い視野で考えさせる授業に取り組めるよう工夫されている。
- ② 主体的に問題を発見し、四つのステップで考えを深める展開が行われるように、道徳の授業の流れが示されている。
- ③ 「深めよう」では、グループで話し合う学習活動が示されたり、役割演技ができるように示されたりして、学習活動の幅が広がるように工夫されている。また、実生活と結びつけられるような道徳の学びの提案をしている。
- ④ 教材と関連のある情報が「クローズアップ」に掲載されており、自分自身を見つめ、生き方の選択肢を増やせるよう考えられている。
- ⑤ 情報モラル、キャリア教育などの現代的な課題や、話題の人物の生き方に触れ、生徒が興味を引くような題材を多く扱っている。また、アンガーマネジメントや自己肯定感など、心の向き合い方を考える機会や日本の各地域に関連のある題材も掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・年間35時間分の題材として、35題材が取り上げられている。
- ・読み物教材だけでなく、写真・漫画・図などで、視覚的に引きつけられるようになっている。また、QRコードが付いている題材があり、家庭でも関連する資料を得ることができるようになっている。
- ・巻頭の「マイプロフィール」により、今の自分自身を見つめ、記録を残しておけるようになっている。また巻末に「心の四季」として4つの項目で心の成長を振り返ることができるようになっている。
- ・巻末に学期ごとの振り返りを記入する「学びの記録」が示されている。

(3) 総合所見

先人や話題の人物に関する教材が多く、現代的な課題に関わる題材もあり、生徒の興味・関心を引き起こし、身近な問題として考えられるような構成になっている。また、「考えを深める四つのステップ」が示されていることで、道徳の授業の進め方を具体的にイメージでき、自分のこととして、主体的に取り組めるように工夫されている。対話的、体験的な学習活動により、自分とは違う他者の考え方を取り入れやすくなり、新しい見方や考え方を広げられるような工夫が見られる。しかし、文字のフォントは全体的に小さく、密集しているように見え、文の量が多く感じられる。

令和3年度使用中学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳			
発行者番号・略称		教科用図書番号		
232・廣あかつき		1年	2年	3年
		707	807	907
		708	808	908

(1) 内容の特徴及び表現

- ① 教科書のタイトルにある「自分を見つめる」「自分を考える」「自分をのばす」ための道徳の時間の進め方が最初に示されている。
- ② 各教材に「考える・話し合う」のコーナーを設け、「学習の手がかり」により、学習の見通しをもつためのめあてが示されている。また、問いにより、主体的・対話的な学習を促す工夫がある。「考えを広げる・深める」では、今までの自分を見つめたり、将来に向けてさらに考え続けられたりするような問いが示されている。
- ③ 「thinking」により、内容項目の理解をさらに深めるような題材が示されている。また、ノートには、内容項目ごとに読み物、グラフ、偉人の言葉などが掲載されていて、価値そのものを捉え、自分の考えを書き残すことができるようになっている。
- ④ 家族との関わりや家庭での出来事、地域との交流などを描いた題材を多く配列し、家庭や地域との連携を促す工夫がされている。
- ⑤ 「国や郷土の伝統や文化への関心」を高められるような教材、「人権・いじめ防止」につながるような教材などが掲載されている。また、職業観の形成に資する教材でキャリア教育の充実が図られるようになっている。情報モラルに関する学習も用意されており、現代的な課題も取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・年間35時間分の題材として、35題材が取り上げられている。
- ・教科書は指導順に、道徳ノートは内容項目順に構成されている。
- ・教科書と別冊「道徳ノート」で構成されている。読み物教材とノートの両方を学習するのは、時間的に難しいと思われ、ノートの使い方に工夫が必要である。
- ・インターネットのマークが付いている題材では、QRコードから情報が得られるようになっており、家庭でも発展的な学習につなげることができる。
- ・全体的に読み物教材が多く、読解が苦手な生徒にとっては、より配慮が必要になってくると思われる。

(3) 総合所見

巻頭の「道徳の時間とは」で、学び方や自己の生き方を考える時間となるよう示されている。各題材で授業の流れが提示され、話し合い活動が展開されるようになっており、ねらいに迫ることができるような工夫がある。先人の生き方や感動教材など、多様な教材が掲載されているが、全体的に読み物教材が多く、読解が苦手な生徒にとっては、より配慮が必要になってくると思われる。